

28

かきせみ



2002年春号

八王子・日野カクセ三会

探鳥 MOKUJI

目次

子どもたちが見た鳥たち

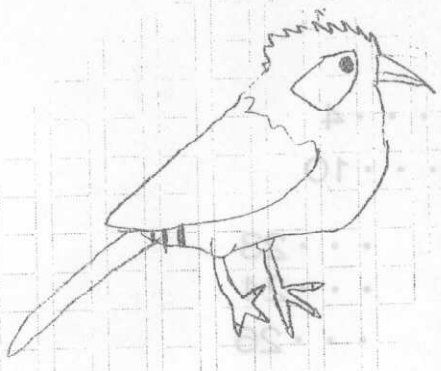
2001年野鳥定期カウント結果	・・・4
探鳥の記録(2001年7月～12月)	・・・10
早起き鳥調べ	・・・23
日野市「せみ探検隊」に参加して	・・・24
安曇野だより No.14	・・・26
北の国から vol.2	・・・27
三年間続けると	・・・28
沖縄探鳥会	・・・30
思い出のヤンバルワーキング探鳥会	・・・33

鳥信 ・・・34

2001年ツバメ巣調査・中間報告	・・・45
ハクセイキレイの集団罫(2001年7月～12月)	・・・46
セグロセキレイの集団罫(2001年7月～12月)	・・・47
ヒメアマツバメの動向(2001年7月～12月)	・・・48
2001年浅川流域イワツバメ営巣調査	・・・49
2001年秋のサシバ渡り調査結果	・・・51
2001年片倉城跡公園巣箱調査	・・・54
2001年我が家の庭に来る野鳥調査結果	・・・56
2001年1年間に見た野鳥の種類数	・・・58
2002年冬鳥一斉調査	・・・61

八王子・日野カワセミ会は
浅川周辺の野鳥を観察する市民グループです。

子どもたちが見た鳥たち



ヒヨドリ



カワセミ



火目

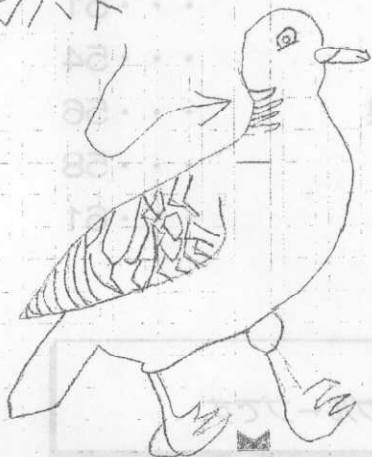


カワセミ

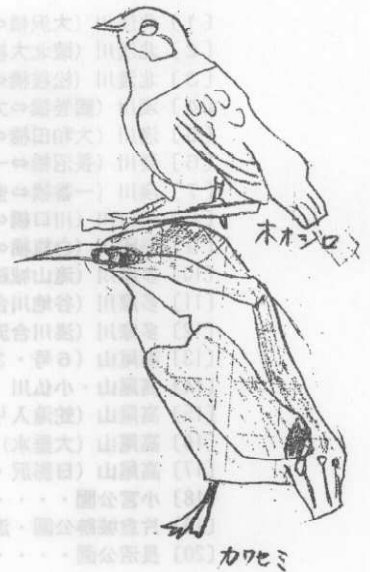
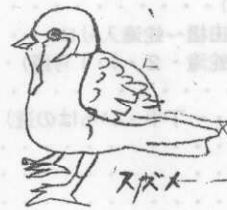
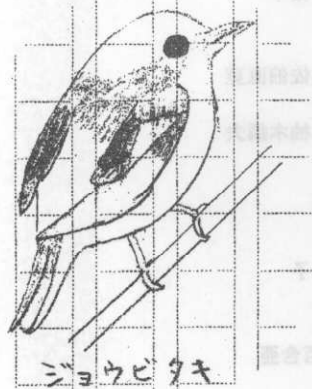
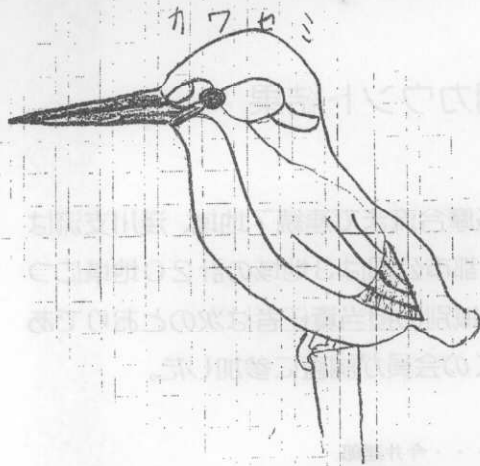


カワセミ

＊シジミト



ヒヨドリ



上川口小学校野鳥観察会（2月9日）に参加された子どもたち 25 名全員からの感想文を取りまとめられた文集がとどきました。この野鳥の絵は、感想文といっしょに子どもたちが書いたものです。

野鳥のとくちょうがよくとらえられていて、野鳥の名前がなくても何なのか分かります。子どもたちのレベルの高さに感心しました。

野鳥≫子どもたち≫地域≫環境≫・・・と、どんどん輪が広がっていくのはうれしいものです。

絵を書いた子どもたち。

（一年）栗原 佳那さん

（一年）さとう りゅうきくん

（二年）石川 たつやくん

（二年）かとう かずきくん

（二年）松井 のり行くん

（三年）水野 良くん

（四年）秋山 隆司くん

（四年）上田 悠祐くん

（四年）高野 悠磨くん

（五年）中島 利樹くん

（六年）石川 由加里さん

2001年野鳥定期カウント結果

1. 調査地域と担当責任者

2001年は北浅川・浅川は大沢橋から多摩合流まで連続7地域、浅川支流は2地域、多摩川は3地域、高尾山は5地域、都市公園は3地域の計20地域について毎月1回の定期カウントを実施した。地域別の担当責任者は次のとおりであり、各地域、各月とも担当責任者の他に多くの会員が調査に参加した。

- [1] 北浅川 (大沢橋⇄陵北大橋) 今井達郎
- [2] 北浅川 (陵北大橋⇄松枝橋) 河村道寛・洋子
- [3] 北浅川 (松枝橋⇄鶴巻橋) 山浦秀雄、福島弥四郎
- [4] 浅川 (鶴巻橋⇄大和田橋) 倉本修
- [5] 浅川 (大和田橋⇄長沼橋) 新村哲也
- [6] 浅川 (長沼橋⇄一番橋) 山崎悠一・久美子
- [7] 浅川 (一番橋⇄多摩川合流) 門口一雄・裕子
- [8] 川口川 (川口橋⇄明治橋) 鈴木章七
- [9] 湯殿川 (白旗橋⇄時田橋) 三富恒男
- [10] 多摩川 (滝山城跡下) 三好恒雄、佐伯直寛
- [11] 多摩川 (谷地川合流⇄中央線鉄橋) 神谷古牧
- [12] 多摩川 (浅川合流付近) 阿江範彦、柚木鎮夫
- [13] 高尾山 (6号・3号路) 木村晴美
- [14] 高尾山・小仏川 (上栢田橋～蛇滝入り口) 粕谷和夫
- [15] 高尾山 (蛇滝入り口・蛇滝・2・4・1号路) 粕谷和夫
- [16] 高尾山 (大垂水) 川上圭
- [17] 高尾山 (日影沢・城山・一丁平・いろはの道) 白川司・史子
- [18] 小宮公園 田中英吉
- [19] 片倉城跡公園・湯殿川 小池一男
- [20] 長沼公園 馬場裕・百合亜

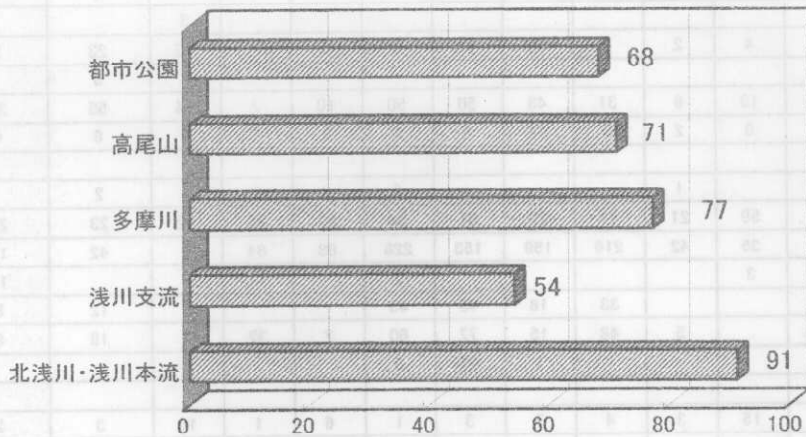
2. 出現種類数

次図のとおり北浅川・浅川本流(大沢橋～多摩川合流)の区間で91種が記録された。この間の地域別では、最も多かったのは一番橋～多摩川合流66種、最も少なかったのは、大和田橋～長沼橋48種であった。

浅川支流は54種で地域別では川口川、湯殿川ともに40種代であった。多摩川は77種であり、区間別では谷地川合流～中央線鉄橋の66種が最も多かった。高尾山は71種で地域別では、「日影沢・城山・一丁平・いろはの道」が52種で、最も多かった。都市公園は68種で、公園別では長沼公園の57種が最多であった。

〆> 許 田土 (甲四) 〆> ちのり ころち (甲一)
 〆> 鼠 程高 (甲四) 〆> ちのり 川百 (甲二)
 〆> 鼠 島中 (甲五) 〆> ちのり ころち (甲二)
 〆> ち里味 由 川百 (甲六) 〆> ちのり 共録 (甲二)
 〆> 身 程水 (甲三)

(図) 2001年地域別野鳥の出現種類数(羽)



3. 出現種

次表は種類別の最高羽数を記録した月の出現羽数である。これは12回にわたる毎月の調査結果の記録表から最も多かった月の羽数をピックアップしたもので、この表からはそれが何月に記録されたものかは読み取ることができない。そこで、一部について以下に出現月を記すが、月別の具体的なデータを希望する方は、取りまとめ責任者に申し出て頂きたい。

- 北浅川(大沢橋⇄陵北大橋)のオドリ1羽は、3月と12月に記録されたもの
- 北浅川(陵北大橋⇄松枝橋)のベニマシロ1羽は、11月に記録されたもの
- 浅川(鶴巻橋⇄大和田橋)のイトドリ1羽は、11月に記録されたもの
- 浅川(一番橋⇄多摩川合流)のオカキ2羽は、1月に記録されたもの
- 多摩川(滝山城跡下)のマガキ1羽は、7月に記録されたもの
- 多摩川(谷地川合流⇄中央線鉄橋)のフウキ5羽は、7月に記録されたもの
- 多摩川(谷地川合流⇄中央線鉄橋)のベニマシロ4羽は、1月に記録されたもの
- 多摩川(谷地川合流⇄中央線鉄橋)のコムドリ1羽は、7月に記録されたもの
- 高尾山(6号・3号路)のアトリ24,000羽は、2月に記録されたもの
- 長沼公園サンショウクイ3羽は、7月に記録されたもの

(取りまとめ責任者：粕谷和夫)

2001年最高羽数を記録した月の出現羽数(北浅川、浅川本流)

	北浅川-浅川本流							浅川支流			多摩川		
	大沢橋 ▽ 陵北大	陵北大 ▽ 松枝橋	松枝橋 ▽ 鶴巻橋	鶴巻橋 ▽ 大和田	大和田 ▽ 長沼橋	長沼橋 ▽ 一番橋	一番橋 ▽ 合流部	明治橋 ▽ 川口橋	白旗橋 ▽ 時田橋	滝山下	谷地川合流 ▽ 中央線鉄橋	浅川合流部	
5	カイツブリ	2	5				1			2	7	6	6
40	カワウ	9	11	3	26	233	58	130	11	2	119	22	53
52	コイサギ		13	1	1			2	2	1		1	1
54	ササゴイ				1							3	1
56	アマサギ										3		
57	ダイサギ	5	4	2	7	40	11	5	5		13	23	5
58	チュウサギ											5	
59	コサギ	5	13	8	31	43	50	50	10	2	14	55	32
62	アオサギ	2	8	2	3	16	5	8	3	1	9	6	6
86	オシドリ	1											
87	マガモ	3		1				5	2	1		2	
88	カルガモ	54	59	21	71	29	61	58	89	36	22	23	24
89	コガモ	4	35	42	216	159	153	228	88	84	2	42	12
92	オカヨシガモ		3					2		11			15
93	ヒトリガモ				33	18	95	43				12	8
95	オナガガモ			5	48	15	72	60	2	32		19	8
97	ハシビロガモ					1	23	5					
119	ハチクマ	1											
120	トビ	11	15	3	4	7	3	1	6	1	10	3	2
123	オオタカ	5	1	1		1	1	1	1		1	1	1
125	ツミ	1										1	
126	ハイタカ	3	1										
129	ノスリ	3	1			1		2			2	2	1
141	ハヤブサ	1						1			1	1	
145	チョウゲンボウ	1	2		1	2	1	2			1	2	1
149	コジュケイ	3	4	1				3		2	8	3	2
151	キジ	2	12	4	3		1	8	1	1	4	6	4
167	バン								1			6	
176	コホトリ				3		3	4			4		
177	イカルホトリ	2	11	4	8	14	14	13			2	6	8
178	シロホトリ					2							
183	ムナグロ							8					
186	タケリ		1										
196	ハマシキ						86	70					
214	クサシキ		2				1	1					
217	キアシシキ		3		8	3	7	8					
218	イソシキ		2	4	6	5	9	10		2	2	4	2
230	タシキ		2			1	1	2					
245	ユリカモメ			40	284	95	153	92		1		2	15
246	セグロカモメ			10	5	15	4	5		1	1	1	1
247	オオセグロカモメ							2					
296	キジバト	26	37	20	21	28	17	25	25	23	14	17	19
302	カッコウ									1			
303	ツツドリ											1	
304	ホトキス	1					1	1	1				
319	ヒメアマツバメ	10		15	36	7		30				5	
320	アマツバメ	4	2										
326	カワセミ	9	6	2	3	3	4	5	5	1	2	4	3
331	アオケラ	2	1	1							1		
336	アカケラ		1								1	1	
339	コケラ	6	7	3	3	1	3	3	5	1	4	3	4
344	ヒバリ			1				10		2		5	3

		北浅川・浅川本流							浅川支流		多摩川		
		大沢橋 ▽ 陵北大	陵北大 ▽ 松枝橋	松枝橋 ▽ 鶴巻橋	鶴巻橋 ▽ 大和田	大和田 ▽ 長沼橋	長沼橋 ▽ 一番橋	一番橋 ▽ 合流部	明治橋 ▽ 川口橋	白旗橋 ▽ 時田橋	滝山下	谷地川合流 ▽ 中央線鉄橋	浅川合流部
347	ツハメ	52	44	22	24	37	26	45	82	6	166	50	30
349	ゴシアカツハメ				1			1				14	4
350	イワツハメ	17		4	23	64	13	53		5	12	3	20
354	キセキレイ	12	4	4	4	6	5	7	10	3	2	3	2
355	ハウセキレイ	5	12	12	27	22	16	15	15	27	10	9	12
356	セグロセキレイ	16	31	10	14	15	12	20	17	10	22	9	6
360	ヒンスイ	4									1		
363	タヒバリ		8	3	9	16	11	11	1	4	5	8	5
367	ヒヨドリ	131	108	33	30	36	36	180	47	30	24	163	75
369	モス	11	11	3	6	9	10	5	12	2	9	8	5
387	ジョウビタキ	8	10	4	7	5	6	7	3	2	2	9	2
388	ビタキ										2		
393	イソビヨドリ				1								
399	クロツグミ												15
400	アカハラ					1						1	
402	シロハラ	1								1	1		
405	ツグミ	17	46	25	16	19	17	22	6	4	22	25	17
410	ウグイス	12	7	3	2	2	1	2	6	2	5	5	5
416	オオヨシキリ	2		2	3		1	3			5	13	7
425	セッカ			3	1		4	5			1	5	4
432	エソビタキ												1
433	コサビタキ	1											
435	エナガ	15	25	6				6	20		36	6	4
440	ヤマカウ	2											
441	シジュウカラ	19	38	13	7	6	14	19	7	4	13	24	17
444	メジロ	12	2	2	4	11	2	9	3	3	7	2	5
449	ホシジロ	35	119	20	21	32	27	51	3	6	45	38	40
455	カシラダカ	31	16	10	11	3	1	13		3	48	13	3
461	アオジ	17	22	15	5	10	8	14	5	5	17	14	7
464	オオジュリン											1	
471	カラヒワ	167	145	60	87	92	50	79	14	100	139	113	55
481	ベニマシコ		1									4	
485	イカル	109	1					1					
486	シメ	15	9	4	2		1	4	1	1	2	4	4
488	スズメ	180	235	200	342	300	225	515	230	190	67	80	70
490	コムケトリ											1	
493	ムクドリ	51	52	30	103	85	80	75	175	37	83	54	31
496	カケス	13	9	1			1		2		3		
498	オナガ	11	27		8	6	4	18	20	1	18	26	8
503	ハシホソガラ	18	32	20	49	23	23	35	35	13	25	14	17
504	ハシブトガラ	17	14	11	13	50	6	31	7	10	48	12	4
	アヒル						1		1				
	ガチョウ	1									1		
	経種ガモ						1						
	トハト	76	140	50	369	107	205	110	57	40	2	30	12
	カビチョウ	7	16	1					4		4	1	
	ソウシチョウ		1										
	ハイロチョウ		1										
	マルガモ							2					
	種類数	60	58	51	51	48	56	66	43	46	57	66	56

2001年最高羽数を記録した月の出現羽数(高尾山・都市公園)

	高尾山				
	a	b	c	d	e
59 コサキ	1				
62 アオサキ				1	
88 カルガモ	1	5		2	
120 トビ	1		1	2	3
123 オオカ	2				1
126 ハイタカ					1
129 ノスリ	3	1		1	2
130 ザンパ					2
149 コシユケイ		2	2		1
150 ヤマトリ	2				
296 キジバト	8	6	7	6	6
298 アオバト	1		2		
303 ツツドリ				1	3
304 ホトギス	1		1	2	2
318 ハリオアマツバメ					1
319 ヒメアマツバメ		4			
320 アマツバメ	10		1		4
326 カワセミ		1		1	
331 アオケラ	2	3	4	1	2
336 アカケラ	1	1	1		1
339 コケラ	6	5	12	1	17
347 ツバメ		10	2	6	
350 イワツバメ	30	10	30	4	
354 キセキレイ	2	10	5	3	5
355 ハウセキレイ	1	2			1
356 セグロセキレイ	1	5			
367 ヒヨドリ	20	50	85	13	56
369 モス		2	1	1	1
376 ミソサザイ	4	2	4	1	1
379 カヤクグリ	4				
386 黒ビタキ	3		7		9
387 シヨビタキ	2	3	2	4	3
396 トラツグミ					1
399 クロツグミ	3		3	1	10
402 シロハラ	5		5		2
405 ヲクミ		1	2		2
409 ヤブサメ	5	1	11		10
410 ウグイス	7	10	30	7	26
422 センダイムシクイ	1		3		12
424 キクイタタキ	2		2		1
427 キビタキ	4		10		15
430 オオルリ	3	1	6	1	10
432 エゾビタキ					1
435 エナガ	30	20	70	15	39
438 コケラ	2				7
439 ヒガラ	2		25	2	10
440 ヤマガラ	15	7	45	2	26
441 シシユウカラ	14	20	50	6	38
442 コシユウカラ		2	20		
444 ヌシロ	40	12	65	15	61
449 赤オシロ	5	2	6	4	40
455 カシラダカ				8	
461 アオシ	6	8	12	2	6
462 クロジ	2	2			2
470 アトリ	12000	1	130		317
471 カワラヒワ	25	37	6	4	10
472 マヒワ	11	50	30		14
483 ウリ	3		2		
485 イカル	2	20	9	1	4
486 シメ		5			2
488 スズメ	15	40		30	5
493 ムクドリ	2	12			

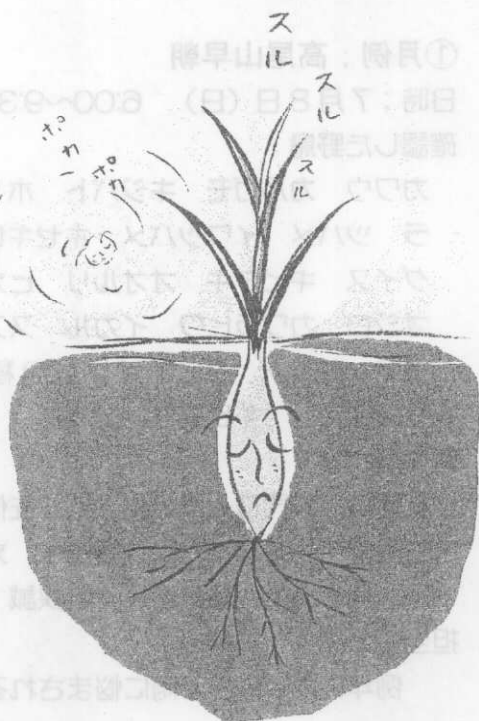
	都市公園		
	小宮公園	片倉城跡公園	長沼公園
40 カワウ		2	
57 ダイヤサキ		1	
59 コサキ		3	
62 アオサキ		1	2
87 カルガモ	3		
88 カルガモ	18	18	2
89 コガモ		20	
120 トビ	1		2
123 オオカ			1
125 ツミ	1		1
129 ノスリ			1
130 ザンパ			1
145 チョウゲンボウ	1		2
149 コシユケイ	5	2	29
151 キジ	6		
245 ユリカモメ		1	
296 キジバト	22	6	19
302 カワウ	1		
304 ホトギス		1	2
326 カワセミ		1	
331 アオケラ	2	1	5
336 アカケラ	1		2
339 コケラ	10	5	12
344 ヒバリ	2		
347 ツバメ	13	10	11
350 イワツバメ		6	3
354 キセキレイ	1	1	3
355 ハウセキレイ	4	3	1
356 セグロセキレイ		3	1
360 ヒンズイ			2
363 タヒバリ		1	
365 シシユウクイ			3
367 ヒヨドリ	66	36	91
369 モス	6	2	7
386 黒ビタキ	2		6
387 シヨビタキ	3	2	4
399 クロツグミ			1
400 アカハラ	2		3
402 シロハラ	3		10
405 ヲクミ	18	4	16
409 ヤブサメ			3
410 ウグイス	1	3	22
422 センダイムシクイ	1		1
427 キビタキ	1		4
430 オオルリ	1		1
431 サメビタキ			1
435 エナガ	13	10	31
440 ヤマガラ	7	5	17
441 シシユウカラ	26	31	62
444 ヌシロ	4	25	68
449 赤オシロ	10		26
455 カシラダカ	36	2	90
461 アオシ	1	3	33
470 アトリ			18
471 カワラヒワ	15	12	24
483 ウリ			2
485 イカル	18		13
486 シメ	10		6
488 スズメ	125	63	98
493 ムクドリ	64	17	13
496 カケス	6		14
498 オナガ	7	9	9

	高尾山				
	a	b	c	d	e
496 カス	6	3	8	3	31
498 オカ				2	
503 ハシホトカラス	2	4		4	12
504 ハシボトカラス	11	20	55	4	7
アヒル				2	
ガチョウ			1	6	
トハト	10	2	10		25
カヒチョウ	10	9	17	8	13
ソウシチョウ			15		
種類数	51	42	45	38	52

- a 3・6号路
- b 小仏川（上栢田橋～蛇滝入り口）
- c 蛇滝入り口・蛇滝・2・4・1号路
- d 大垂水
- e 日影沢・城山・一丁平・いろはの道

	都市公園		
	小宮公園	片倉城跡公園	長沼公園
503 ハシボトカラス	11	11	6
504 ハシボトカラス	9	3	42
ガチョウ			8
トハト	3	52	8
カヒチョウ	1	2	24
ソウシチョウ			2
種類数	45	38	57

早山須高①
 山須高②
 (都平川草巻一短宮小) 川草巻③
 会(数)鳥野新緑④
 会鳥野干草谷・草香三⑤
 (謝田味大～謝匠長) 川草⑥
 会鳥野山鳥朝⑦
 会鳥野匠草⑧
 (謝匠長～荒合川草巻) 川草⑨
 (謝大井朝～謝林出) 川草⑩
 会鳥野匠草・草香⑪
 会鳥野匠草～一丁平⑫
 会鳥野園公宮小⑬
 (謝匠長～謝香一) 川草⑭
 匠草・草香：会鳥野日須大⑮



探鳥の記録（2002年7月～12月）

取りまとめ：前事務局 門口一雄

①高尾山早朝	7月8日（日）
②鳥海山・月山探鳥登山	7月20日～23日
③多摩川（小宮駅～多摩川平堰）	8月12日（日）
④瑞牆探鳥（蝶）会	8月19日（日）
⑤三番瀬・谷津干潟探鳥会	9月2日（日）
⑥浅川（長沼橋～大和田橋）	9月9日（日）
⑦陣馬山探鳥会	9月30日（日）
⑧伊良湖探鳥会	10月6日（木）～7日（日）
⑨浅川（多摩川合流～ふれあい橋）	10月13日（日）
⑩浅川（松枝橋～陵北大橋）	11月11日（日）
⑪道満・彩湖探鳥会	11月20日（火）
⑫沖縄ワーキング探鳥会	11月23日（金）～25日（日）
⑬小宮公園探鳥会	12月5日（水）
⑭浅川（一番橋～長沼橋）	12月9日（日）
⑮大晦日探鳥会；道満・彩湖	12月31日

①月例；高尾山早朝

日時；7月8日（日） 6:00～9:30 天気；晴

確認した野鳥

カワウ カルガモ キジバト ホトトギス ヒメアマツバメ アオゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ヒヨドリ クロツグミ ヤブサメ ウグイス キビタキ オオルリ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ カケス ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト ガビチョウ（29種）

本日のベスト キビタキ オオルリ ガビチョウ

鳥仲間

石橋公子 門口一雄 川上恵 佐伯道寛 清水盛道 白川司 中村和麻子 西巻虎彦 平井国二 平井智恵子 丸山二三夫 山澤良子 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 柚木育子 若狭誠（17名）

担当者の記録

例年梅雨の最中で雨に悩まされるが、今年は、雨なし、異常な猛暑続きで、

早朝探鳥向きとなった。高尾山口駅前で自己紹介後、イワツバメの乱舞を見ながら案内川に出て、カジカカエルの涼しい鳴き声を耳にして、1号路～4号路～山頂の定例コースで実施。

途中の金毘羅神社広場脇では、ガビチョウが長時間「ニイハオ、ニイハオ、うれしいな、皆に合えて嬉しいな、嬉しいな、ニイハオ、ニイハオ、嬉しいな」と中国の鳥らしく甲高い声で歌（さえずり）っていた。そのあと城見台付近ではキビタキを、つり橋横ではオオルリをしっかりと観察でき満足の探鳥会だった。
(川上恵)

②夏山：鳥海山・月山探鳥登山

月日：7月20日～23日 天気：3日間とも晴

確認した野鳥

カイツブリ アオサギ カルガモ トビ オオタカ ハチクマ ハヤブサ チョウゲンボウ キジ キジバト ホトトギス カッコウ アマツバメ アオゲラ アカゲラ コゲラ ツバメ イワツバメ キセキレイ ビンズイ ヒヨドリ ミソサザイ イワヒバリ カヤクグリ クロツグミ ウグイス キビタキ オオルリ ヤマガラシジュウカラ ゴジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ ウソ イカル スズメ ムクドリ ホシガラス ハシボソガラス ハシブトガラス (41種)

今回のベスト イワヒバリ ビンズイ カヤクグリ ハチクマ ウソ

鳥仲間

大川征治 大川香 倉本修 佐藤サヨ子 白川司 白川史子 丸山二三夫 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮雄 柚木育子 門口裕子 門口一雄 (13名)

担当者の記録

鳥海山へは、滝の小屋から鳥海山神社の宿坊河原宿に泊まり、大雪渓（万年雪）から外輪山を周り頂上へのコースをとった。滝の小屋から河原宿の上りは、午後のためか鳥影は少なかったが、見渡す限りの急斜面にクルマユリを始め高山植物が咲き誇り疲れを癒してくれた。河原宿は海拔1600mの広大な草原で、笹原があり、大雪渓があり、ニッコウキスゲが咲き、雪融け水を集めて流れる小川がある。雄大な眺めである。ナナカマドの疎林の中をウソが行き来するのが見えた。

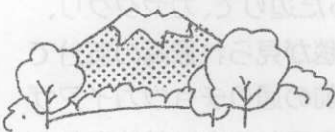
2日目は今回最大の難コースである。太陽が昇る前に出発した。大雪渓は、表面が凍りアイゼンを忘れた方は難儀した。雪渓を渡った辺りで、カヤクグリ、ビンズイが囀り、草原にはニッコウキスゲの黄色い絨毯が見られ最高の気分である。さて、いよいよ最大の急坂アザミ坂である。名前の通りチョウカイアザミがほうぼうで咲き、振り返ればハイマツの中にナナカマドの白い花やカヤク

グリが見え隠れする。四つん這いになり、木や岩にしがみつぎ、息を切り、急坂を上りきると風景が変わった。岩を積み上げたような鳥海新山（頂上）、足元から200m程切れ落ちた断崖越しに御本社、遙かかなたに秋田県象潟のなだらかな丘陵が望まれ疲れが吹き飛んだ。砂礫の外輪山を巻くように七高山（元頂上）、新山へと進んだ。足元にはミヤマキンバイ、イワブクロ等の高山植物、眼下には、昨夜の河原宿、一面緑の鳥海山麓、日本海に続く海岸線等の雄大な風景を望みながら山頂でのひと時を楽しんだ。山頂直下の神社の周りには、ゴミが放置されているのだろうか、カラスが多いのにガッカリした。下山は、外輪山から鳥の海、千畳ヶ原、河原宿、滝の小屋と開けた草原を下った。

3日目の月山は、8合目の阿弥陀が原まで車で上り、頂上まで2時間程の楽なコースをとった。今日は、のんびり鳥見山行を楽しむと決め、まず、阿弥陀が原を散策した。阿弥陀が原は大小の池塘を取り巻く草原で、海拔1400mの高層湿原である。花盛りのミツガシワ、オゼコウホネ、トキソウ等を探し図鑑と合わせ、カヤクグリの囁りを聞き時が経つのを忘れる。阿弥陀が原から先は、緩やかな上りが続き登山道沿いにハクサンシャクナゲ、ウサギギク、ハクサンイチゲ、雪融け直後の斜面にはハクサンチドリ、ハクサンコザクラ等の高山植物が次から次へと咲き競い目を楽しませてくれる。一方鳥は、ピンズイが再三でるが、登山者が次々と通るせいか種類は少なく、雪渓の上でイワヒバリ、キセキレイ、上空ではアマツバメ、オオタカの通過等を見た。旅館の前でハチクマが旋回し今日の山行をめでてくれた。

最後の日は、標高300m余の羽黒山周辺で探鳥した。アカショウビンの情報に、池の周り、杉の大木の周り等を探したが見当たらない。高尾山と同じような夏鳥を確認した。帰路は、羽黒山神社、湯殿山神社に安全探鳥を祈願し山形へ向かった。

今回の夏山探鳥山行は、車で森林限界まで上り、低木や草原の開けた所を歩いたのでカヤクグリ、ピンズイ、イワヒバリなど鳥種は少なかったが多くの高山植物や雄大な自然を堪能した。(担当；門口)



③月例：多摩川（小宮駅～多摩川平堰）、ツバメの罫入り

日時 8月12日(日) 15:00～19:15 天気：曇

確認した野鳥

カイツブリ ササゴイ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ バン
キジバト カワセミ コゲラ ツバメ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨ
ドリ モズ ウグイス オオヨシキリ セッカ シジュウカラ ホオジロ カ
ウラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ア
ヒル ドバト(29種)

本日のベスト ササゴイ バン カイツブリ アオサギ ツバメ

鳥仲間

井形定子 今井達郎 岩本嘉之 大川征治 大川香 緒方直美 粕谷和夫 門
口一雄 金子凱彦 神谷古牧 川上恵 佐藤サヨ子 鈴木知子 千葉慎子 原
田佳世 矢崎恵美子 横山由美子 若狭誠 渡辺仁 谷本 神谷 岡田 山沢

(23名)

担当者の記録

15時にJR八高線小宮駅に集合して、多摩川（小宮瓢箪池⇒平堰）を歩い
た。瓢箪池でバン、カイツブリを見て平堰に向かった。ねらいは2万羽を超え
るツバメの罫入りの観察である。しかし、天気が曇から雨模様になったこと、
ツバメの罫入りのピークが時期的に過ぎていたこと等の理由で期待どおりの数
のつばめ罫入りは観察されませんでした。ここでの観察会は7月下旬から8月
月上旬が望ましい。(担当：粕谷和夫)

④瑞牆探鳥(蝶)会

日時：8月19日(日) 8時10分～15時 天気：晴

確認した野鳥

トビ キジバト アオバト コゲラ イワツバメ キセキレイ ルリビタキ
ウグイス コガラ ヒガラ ヤマガラ シジュウカラ ゴジュウカラ メジロ
ウソ カケス ハシボソガラス メボソムシクイ コサメビタキ ホシガラス
(20種)

確認した蝶

アサギマダラ キベリタテハ シータテハ クジャクチョウ サカハチチョウ
ヤマキチョウ ダイミョウセセリ ジョウモンチョウ セセリチョウ シジグ
ロシロチョウ クロアゲハ(11種)

確認した野草 省略

本日のベスト

野鳥：ウソ メボソムシクイ コサメビタキ

蝶 ; アサギマダラ キベリタテハ シータテハ クジャクチョウ

野草 ; レンゲショウマ オミナエシ ヒヨドリバナ (日) 日 5 1 日 8 朝日

鳥仲間

青木静子 井形定子 石橋公子 井上典子 小沢礼子 大川征治 大川香 粕谷和夫 門口一雄 門口裕子 嶋崎太郎 傍嶋玲子 千葉慎子 中村和麻子 長谷川篤 長谷川典子 細田富美代 目黒廣 山崎悠一 山崎久美子 (20名) 担当者の記録

このコースのキャッチフレーズは「標高 1500~1800mの緩やかな林道、気温 20度の涼しい林道でのんびり自然観察を楽しむ」もので、期待どおりヒヨドリバナに群がるアサギマダラの群飛、ルリタテハ等の蝶、ツリフネソウ、ワレモコウ、ヤマオダマキ等の野草を楽しむことができました。

野鳥のベスト3はウソ、メボソムシクイ、コサメビタキでしたが、このコースの圧巻は南国方面に旅するであろう夥しい数のアサギマダラでした。男性より女性の参加者が多かったこともこの探蝶会の特徴でした。(担当; 粕谷和夫)

⑤三番瀬、谷津干潟探鳥会

日時; 9月2日(日) 9:30~14:30 天気; 晴

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ ハシビロガモ スズガモ バン ハマシギ キアシシギ イソシギ ミヤコドリ ハジロコチドリ シロチドリ メダイチドリ ダイゼン トウネン ミユビシギ オバシギ エリマキシギ コアオアシシギ ソリハシギ キョウジョウシギ アオアシシギ オオソリハシギ オオハシギ チュウシャクシギ セイタカシギ アカエリヒレアシギ ユリカモメ ウミネコ キジバト ツバメ ハクセキレイ ノビタキ セッカ シジュウカラ カワラヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト (46種)

本日のベスト アカエリヒレアシギ コアオアシシギ ミヤコドリ エリマキシギ オオソリハシギ

鳥仲間

青木繁昌 青木静子 井上典子 今井達郎 大川征治 大川香 門口一雄 門口裕子 河村洋子 倉本修 小塩菊子 近藤幹夫 佐伯直寛 佐藤サヨ子 鈴木知子 関根伸一 萩原正昭 平井国二 平井智恵子 古山隆 細田富美代 丸山二三夫 三好恒雄 目黒廣 山崎悠一 山崎久美子 山澤良子 柚木鎮夫 柚木育子 宮舘 (30名)

担当者の記録

数日前の下見では、シギチドリが少なく今日は、と期待して出かける。三番

瀬にでるとちょうど干潮で、かなり先まで干潟が続き又潮干狩りの人が多数出ていた。シギチドリは、人出を避けるように水溜りに集まり見やすかった。オオソリハシシギ、ミヤコドリなどシギチが多く識別に苦労しながら観察した。

谷津干潟では、アカエリヒレハシシギが2羽かわいい姿をまじかに見せてくれた。初めて見る人が多く感激した様子。ソリハシシギ、コアオアシシギなどシギチが多く出て暑さを忘れて観察した。(担当；大川征治)

⑥月例；浅川（長沼橋～大和田橋）

日時；9月9日（日） 8:10～10:00 天気；雨

確認した野鳥

カワウ ダイサギ チュウサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ
イカルチドリ イソシギ キジバト カワセミ キセキレイ ハクセキレイ
セグロセキレイ ヒヨドリ セッカ シジュウカラ カワラヒワ スズメ
ムクドリ ハシボソガラス ドバト マルガモ（24種）

鳥仲間 大川征治 山崎悠一 山崎久美子（3名）

担当者の記録

台風15号の接近で雨が降るかと思えば、晴れ間も見える、決行か中止か迷う天候で参加者が少なかった。コサギを追いかけるオオタカやカワセミが3回も姿を見せるなど、雨中の探鳥を歓迎してくれたようだ。(担当；大川征治)



⑦陣馬山探鳥会

日時：9月30日(日) 9:00~13:00 天気：晴後曇

確認した野鳥

ヒヨドリ キジバト ホウジロ カケス メジロ キクイタダキ イワツバメ
コゲラ シジュウカラ ヒガラ ヤマガラ アマツバメ ツバメ アオバト
ハシブトガラス モズ サシバ ハシボソガラス キセキレイ ミソサザイ
(20種)

鳥仲間

青木繁昌 井形定子 伊倉恵子 石橋公子 井上典子 今井達郎 小原堅嗣
門口一雄 門口裕子 神谷古牧 川上恵 河村洋子 倉本修 小塩菊子 佐久
間輝子 佐藤サヨ子 清水盛道 白川司 白川史子 千葉禎子 古山隆 細田
富美代 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 柚木育子 (26名)

当日の記録

前日、「サシバ数百羽が八王子上空を渡る」の情報に、今日もまた、と希望を
抱いて参加した会員も多かった。しかし、天気が曇天で寒く、上昇気流が発生
しないのか、ワシタカの姿は見られない。(サシバの小群が遠くを1回渡った。)
他の野鳥も、陣馬山頂では少なかったが、途中の車道でカケス、アマツバメが
よく見られた。

⑧伊良湖探鳥会

月日：10月6日(木)~7日(日) 天気：2日間とも晴

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ チュウサギ コサギ アマサギ アオサギ
マガモ カルガモ コガモ オカヨシガモ ヒドリガモ オナガガモ ハシビ
ロガモ ホシハジロ スズガモ キンクロガモ ハチクマ トビ オオタカ
ツミ ノスリサシバ ハヤブサ チョウゲンボウ ミサゴ チゴハヤブサ キ
ジ バン イカルチドリ ハマシギ クサシギ キアシシギ イソシギ シロ
チドリ メダイチドリ ダイゼン トウネン アオアシシギ チュウシャクシ
ギ ウズラシギ エリマキシギ ソリハシシギ オオソリハシシギ オバシギ
セグロカモメ クロハラアジサシ ウミネコ イソヒヨドリ オオミズナギド
リ ケリ キジバト アオバト アマツバメ カワセミ アカゲラ コゲラ
ヒバリ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ピンズイ ヒ
ヨドリ モズ ノビタキ セッカ メジロ ホオジロ カワラヒワ スズメ
ムクドリ ハシボソガラス ハシブトガラス コジュケイ ドバト (76種)

今回のベスト

サシバ クロハラアジサシ エリマキシギ ケリ ヒヨドリの渡り

鳥仲間

青木繁昌 青木静子 大川征治 大川香 小澤礼子 川上恚 門口一雄 門口裕子 佐伯直寛 関根伸一 田中英吉 細田富美代 目黒廣 丸山二三夫 山崎悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 柚木育子 (18名)

担当者の記録

伊良湖岬では6・7日の早朝、地元の博物館の方に説明して頂きサシバ、ヒヨドリ等秋の渡りを観察した。前山から湧き出た？数百羽のヒヨドリの群れが帯になり、団子になり次々と騒がしく目の前を飛び去り伊良湖岬先端の古山に吸い込まれる。古山から機を見て伊勢湾に飛び出すが、天敵の出現か、気流の変化か、失敗し戻ることしばしば。数回繰り返す群れもある。海面すれすれまで高度を下げ志摩半島を目指し飛び去る。思わず拍手。

夕川干潟と紙田川貯木場付近では、クロハラアジサシ、エリマキシギ、ケリ等を見た。クロハラアジサシは現地で情報を得、貯木場付近を皆で探した。水中の杭に留まったところや、目の前を飛び姿を見たが、若鳥か冬羽のせいお腹は白かった。夜行バスの旅で少々疲れたが、目当てのサシバ、ヒヨドリの渡りや多くの野鳥、珍鳥クロハラアジサシなどなど見られて満足いただけたと思う。

(担当：門口)

⑨月例：浅川（多摩川合流～ふれあい橋）

日時：10月13日（日） 8:00～10:20 天気：晴

確認した野鳥

カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ トビ オオタカ チョウゲンボウ イカルチドリ クサシギ イソシギ ユリカモメ キジバト カワセミ コゲラ ツバメ キセキレイ ハクセキレイ セグロセキレイ ヒヨドリ モズ シジュウカラ メジロ ホオジロ カワラヒワ イカル スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト (32種)

本日のベスト カワウの編隊飛行 チョウゲンボウ カワセミ

鳥仲間

阿江範彦 井形定子 井手龍世 井上典子 大川征治 大川香 小原堅嗣 粕谷和夫 粕谷寿美子 門口一雄 門口裕子 川上恚 河村洋子 木村晴美 倉本修 佐藤サヨ子 白川司 傍嶋玲子 千葉槇子 中野悠紀子 西巻虎彦 新田茂 平井国二 平井智恵子 細田富美代 宮越俊一 三好恒雄 山浦秀雄 山崎悠一 山崎久美子 柚木育子 若狭誠 吉田 佐久間 森松 中野 宮館 (37名)

担当者の記録

目当てのカモの仲間や冬鳥は、河川工事中のためか、大雨で草地が流れ隠れ

る所が少なくなったためか、暖冬のためか分からないが少なかった。カワセミ、
チョウゲンボウなどいつもの鳥がいつもの所でくれた。カワウの大編隊飛行
は、(歓迎できないが) 見ごたえがあった。(担当：門口)

⑩月例：浅川（松枝橋～陵北大橋）

日時：11月11日（日） 8:00～10:50 天気：晴

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ オカ
ヨシガモ トビ オオタカ ノスリ ハイイロチュウヒ イカルチドリ クサ
シギ イソシギ キジバト カワセミ アオゲラ アカゲラ コゲラ キセキ
レイ ハクセキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ジョウビ
タキ ツグミ ウグイス エナガ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラ
ダカ アオジ カワラヒワ ベニマシコ シメ スズメ ムクドリ カケス
ハシブトガラス ハシボソガラス コジュケイ ドバト ガビチョウ ソウシ
チョウ (47種)

本日のベスト

カワセミ ハイイロチュウヒ アカゲラ アオゲラ ソウシチョウ

鳥仲間

青木静子 井形定子 石井昇 今井達郎 小原堅嗣 小川清成 粕谷和夫 門
口一雄 川上恵 河村洋子 木村晴美 倉本修 佐伯直寛 佐藤サヨ子 白川
司 白川史子 杉田陽子 鈴木章七 傍嶋玲子 田中英吉 千葉榎子 中野悠
紀子 新田茂 平井国二 平井智恵子 山崎悠一 山崎久美子 柚木育子 森
松 (29名)

当日の記録

二セアカシヤにアカゲラとアオゲラが同時に留まるビックショウを見た。続
いて、ハイイロチュウヒが上流から突然飛来した。直近飛翔のため識別ポイン
トを見落とし、追跡し再確認してくれた会員もいた。さらに、グラウンドそばの
柳の大木に聞きなれない鳴き声。木の下から、堤防の上から角度を変え探し、
梢の葉陰越しにソウシチョウを見つけ鳴き声を確認した。再三観察したカワセ
ミや珍しい鳥がたくさん見られ満足した。

⑪平日；道満・彩湖探鳥会

月日；11月20日（火） 10:30～14:20 天気；晴

確認した野鳥

カイツブリ カワウ カンムリカイツブリ ダイサギ アオサギ マガモ カ
ルガモ コガモ ヒドリガモ ミコアイサ チョウゲンボウ キンクロハジロ
オオバン イソシギ タシギ コリカモメ キジバト アカゲラ コゲラ ヒ
バリ ハクセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ツグミ ショウビタキ セ
ッカ シジュウカラ メジロ ホオジロ カシラダカ オオジュリン カワラ
ヒワ スズメ ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト
(39種)

本日のベスト ミコアイサ カンムリカイツブリ チョウゲンボウ

鳥仲間

相田弘治 青木静子 井形定子 石橋公子 井上典子 今井達郎 大川征治
大川香 小澤礼子 河村洋子 木村晴美 倉本修 小塩菊子 佐藤サヨ子 白
川司 白川史子 杉田陽子 田中英吉 千葉槇子 平井国二 平井智恵子 細
田富美代 丸山二三夫 三好恒雄 本島てるみ 若狭誠 川上恚 (27名、他
小学生4人)

担当者の記録

道満・彩湖探鳥会は、昨年の大晦日探鳥会に続き 2 回目で、暖かい無風の好
転に恵まれ予想以上の参加者でした。期待したコミミズク、ベニマシコ等は確
認できなかったが、パンダ模様のミコアイサ♀とカンムリカイツブリ、チ
ョウゲンボウ等 39 種を確認、満足の日だった。(担当；川上恚)

⑫沖縄ワーキング探鳥会

月日；11月23日（金）～25日（日） 天気；3日間とも晴

確認した野鳥

カワウ ゴイサギ ダイサギ チュウサギ クロサギ アマサギ コサギ ア
オサギ リュウキュウヨシゴイ カルガモ サシバ ミサゴ チョウゲンボウ
ヤンバルクイナ ヒクイナ シロハラクイナ バン タマシギ コチドリ イ
カルチドリ シロチドリ オオメダイチドリ ムナグロ ダイゼン タゲリ
キョウジョウシギ ヒバリシギ ウズラシギ クサシギ タカブシギ イソシ
ギ アマミヤマシギ タシギ アオアシシギ リュウキュウカラスバト キジ
バト ズアカアオバト アオバズク カワセミ ノグチゲラ コゲラ リュウ
キュウツバメ キセキレイ ハクセキレイ タヒバリ サンショウクイ シロ
ガシラ ヒヨドリ アカヒゲ イソヒヨドリ ツグミ ヤブサメ ウグイス
セッカ ヤマガラ シジュウカラ メジロ マヒワ スズメ ギンムクドリ

ホシムクドリ ムクドリ ハシボソガラス アミハラ (ギンハラ) ドバト
(65 種確認 他不明鳥 3 種)

今回のベスト

ヒクイナ ヤンバルクイナ タマシギ ノグチゲラ アカヒゲ ホシムクドリ
キンムクドリ

その他の生き物

オオコウモリ イシカワガエル オオシマゼミ マダラコオロギ オキナワマ
ドボタル ツバベニチョウ オオジョロウグモ等

鳥仲間

青木静子 今井達郎 大河征治 大川香 粕谷和夫 門口一雄 門口裕子 川
上慧 佐伯直寛 下重喜代 関根伸一 原田佳世 細田富美代 丸山二三夫
山崎悠一 山崎久美子 (16 名)

担当者の記録

この探鳥会の特徴は単に物見遊山的なものにせず、「地域への貢献タイム」を
設けたことです。これは下重会員の提案によるもので、現地でも多くの方にお世
話になりましたが、特に次の方には献身的なご協力を頂きました。市田豊子さ
ん(やんばると本土をつなげるコーディネーターとしてボランティアしていま
す。彼女なくしてはやんばるの人を動かすことは困難。)久高将和さん(ヤンバ
ルクイナのナイトツアーの名インタープリターです。ヤンバルクイナの情報を、
やんばるの森の自然情報を彼ほど持っている人はいない。)日置恵さん(喜如嘉
小学校で理科教育、自然観察を引っ張って沖縄全土で有名な先生。喜如嘉小で
は過去6年間毎日学校前の田んぼで野鳥観察をやっている。)

この探鳥会で得るものが多かったが、喜如嘉小の子どもたちから学校前に広
がる田んぼで探鳥指導を受けたこと、学校で草刈などのボランティア作業をさ
せて頂いたこと、当日の夜、PTA 等地元の皆様の手作り郷土料理で泡盛パー
ティを開き交流ができたことです。喜如嘉小での小学生との交流は地元の琉球
新報と沖縄タイムスの2新聞に掲載されました。(担当：粕谷和夫)

⑬平日；小宮公園探鳥会

日時；12月5日（水） 9:00～11:40 天気；晴

確認した野鳥

マガモ カルガモ キジバト コゲラ キセキレイ ハクセキレイ ヒヨドリ
モズ ショウビタキ アカハラ ツグミ ウグイス エナガ ヤマガラ シジ
ュウカラ カシラダカ カワラヒワ シメ スズメ ムクドリ カケス オナ
ガ ハシボソガラス ハシブトガラス (24種)

本日のベスト カシラダカ シメ カケス

鳥仲間

青木繁昌 青木静子 井形定子 井上典子 大川征治 久保田ヤス子 佐藤サ
ヨ子 多田恒子 仲尾政幸 平井牧 平井芳子 細田富美代 小川清成 佐久
間輝子 田中英吉 (15名)

担当者の記録

12月にしては暖かい日の探鳥会でありました。参加者が平日探鳥会として
は多いほうで、そのお陰で小宮公園としては種類が多く見られました。しかし、
残念ながらもいつも見られるツミが出ませんでした。(担当；田中英吉)

⑭月例；浅川（一番橋～長沼橋）

日時；12月9日（日） 8:00～11:00 天気；晴

確認した野鳥

カイツブリ カワウ ダイサギ コサギ アオサギ カルガモ コガモ ヒド
リガモ オナガガモ ハシビロガモ チョウゲンボウ イカルチドリ ハマシ
ギ イソシギ コリカモメ キジバト カワセミ コゲラ キセキレイ ハク
セキレイ セグロセキレイ タヒバリ ヒヨドリ モズ ショウビタキ ツグ
ミ シジュウカラ メジロ ホオジロ アオジ カワラヒワ シメ スズメ
ムクドリ オナガ ハシボソガラス ハシブトガラス ドバト マルガモ

(39種)

本日のベスト チョウゲンボウ ハマシギ カワセミ

鳥仲間

井形定子 井手龍世 今井達郎 大川征治 大川香 粕谷和夫 門口一雄 門
口裕子 川上恵 河村洋子 佐藤サヨ子 杉田陽子 杉森ユリ 鈴木章七 傍
嶋玲子 高橋稔 新田茂 原田佳世 平井国二 平井智恵子 平井芳子 山崎
悠一 山崎久美子 柚木鎮夫 柚木育子 若狭誠 森松 小川 (28名)

当日の記録

今年最後の月例探鳥会、ハマシギの群れ、カワセミやチョウゲンボウの飛翔
がいつもの所で見られた。

⑮大晦日探鳥会；道満・彩湖

会鳥園公宮小；日平①

日時：12月31日 8:20~13:00 天気：晴 (水) 日2月15日：朝日

確認した野鳥

鳥種式J鳥新

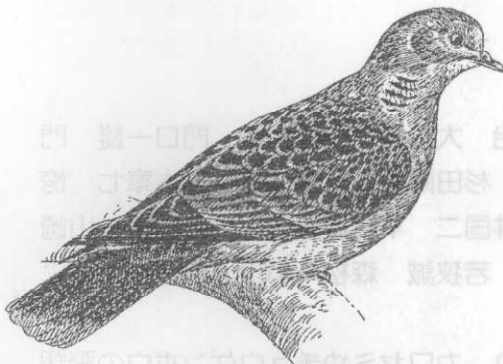
カイツブリ、カワウ、カンムリカイツブリ、ダイサギ、コサギ、アオサギ、カ
ビロガモ、オカヨシガモ、ヒドリガモ、ハシビロガモ、ホシハジロ、キンクロ
ハジロ、ヨシガモ、ミコアイサ、オオタカ、ハヤブサ、チュウヒ、チョウゲン
ボウ、イソシギ、タカブシギ、ユリカモメ、セグロカモメ、キジバト、オオバ
ン、ヒバリ、ハクセキレイ、タヒバリ、ヒヨドリ、モズ、ツグミ、ウグイス
シジュウカラ、メジロ、ホオジロ、アオジ、オオジュリン、カワラヒワ、シメ
ズメ、ムクドリ、オナガ、ハシボソガラス、ドバト (43種) 鳥種式J鳥新

本日のベスト チョウゲンボウ、ヒバリ、ヨシガモ (各1羽) 吉英中田 鳥仲間

青木繁昌 今井達郎 小澤礼子 粕谷和夫 川上憲 佐藤サヨ子 鈴木章七
田中英吉 長谷川篤 長谷川典子 原田佳世 三好恒雄 森松幹治 山崎悠一
山崎久美子 若狭誠 (17名)

担当者の記録

当初計画の多摩湖を、下見したところ工事のため急きょ彩湖に変更しまし
た。猛禽類がオオタカ、ハヤブサ、チュウヒ、チョウゲンボウの4種、ヨシガ
モみを間近(地上や水上)で、ヒバリの群等をよく見ました。(担当；青木繁昌)



早起き鳥調べ

大塚谷

粕谷和夫

鳥は早起きであるといわれていますが、種類によって活動を始める時刻に違いがあるか。2001年8月6日、ツバメの峙立ちを観察時に、多摩川平堰の八王子側で調査をしました。夜行性のゴイサギを除き、最も早く鳴いたのがカイツブリでありました。集団峙のツバメはほんの少し明るくなりだした4時23分に第1集団があつという間に飛び出していきました。5時7分にはアオバトが現れるという予想外のことに遭遇しました。

3:45	現場到着 辺りは暗い、鶏がコケッココーと鳴く、ウシガエルの声が聞こえる		
3:53	コウモリが飛び出す		
4:05	ゴイサギ飛ぶ		
4:10	カイツブリの音が聞こえてくる、カルガモ約10羽飛来		
4:20	辺りが少し明るくなる		
4:22	中洲のねぐらの中のツバメの音が聞こえだす		
4:23	ツバメの音が大きくなり、第1集団がねぐらから飛び出す		
4:33	ホオジロが囁りだす		
4:35	メモをとれる明るさになる。ツバメの第2集団飛び出し		
4:40	ツバメの第3集団飛び出し		
4:41	スズメの音が聞こえて来る、カナカナゼミが鳴く		
4:38	アオサギ1羽飛び出す		
4:44	ツバメ第4小集団飛び出し		
4:45	ヒヨドリ、セグロセキレイ鳴き出す		
4:50	ニイニゼミが鳴き出す		
4:55	コジュケイの音が聞こえて来る		
4:58	カワセミ飛来		
5:00	ハシボソガラス鳴き出す		
5:01	ハシブトガラス鳴き出す。カワウ1羽飛来		
5:03	トビ1羽飛来		
5:05	コサギ、ダイサギ各1羽飛来		
5:07	犬との散歩者現れる。セッカの声聞こえて来る		
5:07~10	アオバト3羽中洲の枯れ木に止まり5:10立ち去る		
5:10	ガビチョウ、キジバトの声聞こえて来る		
5:17	ササゴイ1羽飛来		
5:19	カワラヒワ2羽飛来。コゲラの声聞こえて来る		
5:30	調査終了時までにオオヨシキリ、アブラゼミ、ミンミンゼミの声無し		

日野市「セミ探検隊」に参加して (セミのいる所の野鳥や他の生きもの達)

夫味谷 謙

粕谷和夫

日野市では、身近な生きものと共生できるまちづくりを目指して、「環境マップ」を作成中です。その一環として日野市は2001年夏に一般市民に呼びかけてセミの調査を行いました。カワセミ会にも参加の呼びかけがあり、本会からは阿江範彦、今井達郎、粕谷和夫、川上恵、高橋英昭の各会員が参加しました。

粕谷は栄町・東光寺神名神社付近と栄町・天台宗成就院周辺田畑グラウンドの2箇所の調査地区を担当しました。ここは谷地川が多摩川に合流する付近で東光寺神名神社付近は斜面の雑木林、成就院周辺は境内、墓地、田畑、草野球場等の環境で、両地区とも人の手が加わった二次的な自然が比較的良好に保たれている所です。

調査は7/31から9/25迄の真夏に計14回、時には早朝、時には真昼、時には夕方と時間をずらして行いました。真昼の暑い時は、成就院に立ち寄り御住職さんから冷たい麦茶を頂き、一息入れて調査を再開するという日もありました。折角

セミの調査地域で観察された生きもの達
(せみ、野鳥)

	東光寺	成就院
アブラゼミ	●	●
クマゼミ	未確認	未確認
ニイニイゼミ	●	●
ヒグラシ	●	●
ツクツクボウシ	●	●
ミンミンゼミ	●	●
チョウゲンボウ		●
キジバト	●	●
コゲラ	●	●
ヒバリ		●
ツバメ	●	●
セグロセキレイ		●
ヒヨドリ	●	●
モズ	●	●
ヤマガラ	●	●
シジュウカラ	●	●
カワラヒワ		●
イカル	●	●
スズメ	●	●
ムクドリ		●
オナガ	●	●
ハシボソガラス	●	●
ハシブトガラス	●	●

の調査ですから、セミ以外に野鳥、トンボ、チョウ等の身近な生きものたちも分かる範囲で調査しました。結果は左記のとおりです。

セミはクマゼミを除き5種を観察しました。なかでも東光寺雑木林でアブラゼミとミンミンゼミのセミ時雨は見事でした。

8月6日成就院隣の草野球場の上空でヒバリ飛翔していました。

8月22日成就院でチョウゲンボウの幼鳥らしい1羽が電線に止まり、もう1羽は成就院の上空を飛翔していました。

セミの調査地域で観察された生きもの達
(チョウ、ガ)

	東光寺	成就院
ナミアゲハ	●	●
キアゲハ	●	●
クロアゲハ	●	●
アオスジアゲハ		●
モンシロチョウ	●	●
キチョウ	●	●
キタテハ	●	●
コムスジ	●	
ヒカゲチョウ	●	
サトキマダラヒカゲ	●	●
ジャノメチョウ	●	●
ヒメジャノメ		●
ヒメウラナリジャノメ	●	●
ヤマトシジミ	●	●
ベニシジミ		●
ウラナミシジミ		●
イチモンジセセリ	●	●
オオチャバネセセリ	●	●
キマダラセセリ	●	●
ダイミュウセセリ	●	
ホシホウジャク	●	●
ホタルガ	●	

(トンボ、鳴く虫、爬虫類、他)

	東光寺	成就院
オニヤンマ		●
ギンヤンマ		●
シオカラトンボ		●
ムギワラトンボ		●
ミヤマアカネ	●	●
アキアカネ	●	
ウスバキトンボ		●
アジイトトンボ		●
ハグロトンボ	●	●
カネタタキ	●	●
カンタン	●	
エンマコオロギ	●	●
ツツレサセコオロギ	●	●
ミツカドコオロギ		●
アオマツムシ	●	●
ツマグロヨコバイ	●	
オオカマキリ	●	
ジョロウグモ	●	●
ヤマカガシ		●
カナヘビ	●	●
アブラコウモリ	●	●

8月25日には成就院隣の畑でモズの高鳴きが聞こえてきました。

9月5日には東光寺雑木林のコナラ、ケヤキの樹上でイカルの親子連れ(親2羽+巣立ちヒナ2羽)、親が虫を捕まえて口移しで子に与えるところを観察しました。

7月31日東光寺雑木林のモウソウチク竹藪の林縁でハグロトンボを多数観察。

8月3日成就院隣の田んぼのイネの上にギンヤンマ1匹とウスバキトンボ多数飛翔。

9月8日成就院隣の田の畔にヒガンバナ約30本の蕾が出ていたが、その内3本は開花していた(彼岸前である)。

圧巻は8月22日成就院隣の素掘り用水路の草叢から締め付けられるような声、よく見ると赤と黒模様のヤマガシが大きなカエル(腹が白)の片足をくわえていた。少しずつカエルを飲み込み蛇の顔の中からもう一つカエルの顔が見えるようになった。ここには自然が息づいている。何時までもこの自然が残ってくれと祈らずにはいられない。

東光寺：東光寺神名神社付近

成就院：成就院と周辺田畑ブランド

1. タカの川、壁にカンタン、汽車ポッポ

毎年八月～十月は、シギチからタカまでと私にとって恒例の「秋の渡り月間」で、楽しみにしている季節です。昨秋の安曇野におけるシギチは、長野県初記録のシベリアオオハシシギに始まり、タカブシギ、トウネン、ウズラシギ、エリマキシギと楽しませてもらいました。

タカは…という長野県では白樺峠なのですが、母が病になって家事をするようになってからは丸一日の時間が取れない為、ここ三年は近場の生坂村高津屋山で観察をしています。この場所は偶然知ったものです。知り合いの庭師に芝貼りの手伝いを依頼され、行った場所が山のテッペンで、これまた北側の展望が良く、聖山を右手に、遠くには妙高、飯綱、戸隠などが望め、ひらめいた事は秋のタカの渡りでした。1998年の秋、古山さんたちが白樺峠にタカの観察に来たのですが、あいにく、この年は集中豪雨でR158 および乗鞍スーパー林道が土砂崩れで通行止めとなり、白樺峠は孤立してしまいました。そこで急遽、高津屋山での観察を試みて500羽の渡りを目の当たりにしたのでした。思ったとおり、期待どおりのますますの観察ポイントでありました。昨年は、九月になってぐずついた天候が続きタカの渡りも低調でしたが、秋雨前線が南下し、大陸の高気圧が張り出した9月22日がピークとなりました。この日、高津屋山では1500羽を越え、空高く頭上を渡るタカはまるで天の川のようなタカの川で、途切れることなく流れて行くのであります。数えるのが精一杯。見上げている内、首がムチウチ状態で痛くなり、最後は寝転んで数えました。この日は長野県の各地でもタカの渡りが報告され、白樺峠では過去最高の6500羽余りが記録されました。

そんな頃、我が家の庭では秋の虫が良く鳴きます。今年は畑をしなかったので庭は草ぼうぼう、それが良かったのか例年より多く鳴いているようです。が、悲しいかな、何が鳴いているのか分かりません。デッキに寄りかかって煙草を吸っているとあっちこちから聞こえて来るのですが、聞き分けられません。前後左右上下、後ろ？後ろは壁だよ…上？上は木の中だよ…でも確かに聞こえます。懐中電灯を持ってきて探してみれば、壁に張りついて鳴いている…ハナミズキの木の中で鳴いています。また良く良く聞いていると、汽車のような虫の声もします。シュッシュポッポと鳴く訳はなく、リズムが汽車そっくりで…最初は遅く、だんだん早くなり最後はシューとまるで停車するように終わるのです。

いろいろと調べた結果、壁の虫はカンタン、木の中はヤブキリ、汽車はセスジツユムシと判明、他にコオロギ類、キリギリス類などとのことであります。次の秋は、もう一寸詳しく調べてみようかと思っています。

1. 木つつき？土つつき？

8月の初めのある日、いつものように自転車で清沸湖に向かってしていると、「キョッ、キョッ…」と、アカゲラの声がかかります。その場所は道路が林と崖に挟まれていて、その林側の方でカラ類やキツツキ類がよく見られる所です。なので、その時も林の方を探したのですが、全然見つかりません。すると崖の方から声がしてくるので、崖を探してみると……………いました。アカゲラが崖をチョコチョコと上っていきます。

しばらく観察していると、崖の途中で上るのをやめ、土を掘り出しました。私はそれを見て「これじゃキツツキじゃなくてツチツツキだあ」と、可笑しくなっていました。それからアカゲラは何カ所か同じように掘り返していましたが、何も見つけれなかったようで、飛んでいってしまいました。しかし、あれは何を探していたのでしょうか？クマゲラは木の根元に近い部分を掘ってアリを食べるといいますが、それと同じなのでしょうか？このような行為を見られたことがある方、または知っていらっしゃる方いらっしゃいましたら、ぜひ教えてください。

2. 先入観にご用心

これも清沸湖での出来事。6月の初め頃、清沸湖の西の端の方にある潰れたターミナルセンター跡で鳥を見ているとき、そのターミナルセンターのアンテナにキセキレイがとまっているのを見つけました。見る角度が悪くお腹しか見えませんでした。お腹が黄色かったので「何だ、キセキレイか…」と、流してしまいました。その後も何度か同じ場所で見たのですが、そのときもキセキレイだと思い特に気にしていませんでした。しかし、それから4ヶ月ほどたってから、こっちで知り合った地元のバードウォッチャーの方にそのことを話すと、「清沸湖にはキセキレイはいないよ。きっとそれはツメナガだね。少ないけど一応繁殖してるからね。」と言われ、ショック！「何度も見るチャンスあったのに……！俺の馬鹿あー！」と後悔したところで後の祭です。今度の夏までおあずけになってしまいました。しかし、今度のことで自分の未熟さを思い知りました。次からはどんな鳥でもしっかり見ようと思いました。

三年間 続けると

上川口小学校 教頭 長谷川 典子

「教頭先生、たいへんだよ。体育館の窓の下に珍しい鳥が落ちていたよ。」子どもたちが、一大事のように職員室にかけこんで来たことがたびたびありました。

子どもたちが、だいじそうにかかえてきたのを見ると、眼がつぶれていたり、くちばしから血を流したり、くちばしが曲がったりした鳥でした。

「体育館のガラス窓に激突したんだね。」

「敵に追われていたのかな・・・」

観察会で見た鳥

子どもたちと図鑑で調べてみると、トラツグミであったり、ホトトギスであったり、アオジであったりしました。そのたびに、上川口小周辺の環境の良さを痛感しました。また、上川口小子どもたちにとって野鳥が身近な存在であることを実感しました。

「きのう、白いツバメを家の近くで見たよ。白いツバメっているんだね。」

「川口川で、カワウを見たよ。岩の上に止まっていたよ。」

等々、子どもたちに教えてもらうことも多かったです。子どもは好奇心のかたまりです。上川口小野鳥カードを作成して、廊下に置くと、子どもたちが楽しんでカードを利用してくれました。子どもたちからのうれしい注文が、時々あります。

「ぼくの家の畑に、キジがいたからキジのカードを作ってください。」

		11年	12年	13年
1	カルガモ	○	○	○
2	トビ	○		○
3	オオタカ	○	○	
4	キジバト	○	○	○
5	カワセミ	○	○	○
6	キセキレイ	○	○	○
7	ハクセキレイ	○	○	○
8	セグロセキレイ	○	○	○
9	ビンズイ	○		
10	ヒヨドリ	○	○	○
11	モズ	○	○	○
12	ルリビタキ	○		
13	ジョウビタキ	○	○	○
14	シロハラ	○		○
15	ツグミ	○	○	○
16	シジュウカラ	○	○	○
17	アヒル	○		○
18	メジロ	○	○	
19	ホオジロ	○	○	○
20	アオジ	○	○	○
21	カワラヒワ	○	○	○
22	スズメ	○	○	○
23	ムクドリ	○	○	○
24	カケス	○		
25	オナガ	○	○	
26	ハシボソガラス	○	○	○
27	ハシブトガラス	○	○	○
28	カシラダカ		○	
29	ダイサギ		○	
30	コサギ		○	
31	マガモ		○	
32	ドバト		○	○
33	ガビチョウ			○
34	コゲラ		○	○
35	ノスリ			○
計		27	27	25

「こんど、ガビチョウのカードを作ってください。」

野鳥観察会に参加した保護者の方々とも鳥を通して会話がはずみました。

「野鳥観察って楽しいですね。さっそく図鑑を買ってきました。庭に来る鳥を、子どもと一緒に調べています。子どもと会話がふえました。」

「西八病院の玄関にもツバメの巣がありました。」

地域ぐるみで、鳥や郷土の自然に対する興味、関心が高まっていくことを願っています。

三年間、野鳥観察を続けられたのは、粕谷会長をはじめカワセミ会の方々の支援があったからです。寒い冬の早朝に、重い望遠鏡を抱えて、熱心に教えてくださったカワセミ会の方々の尽力によって、郷土の自然への感動と認識を深めることができました。

上川口小の子どもたちが、野鳥に親しみ知りえる感動体験は、生涯心に残っていくものであり、みずみずしい感性を培っていくものであることを信じます。



沖 縄 探 鳥 会

門 口 裕 子

11月23日から25日まで2泊3日の沖縄探鳥会に参加した。空港には、これからお世話になる野鳥の会の川那さん、喜如嘉小学校の日置教頭先生それに先発組の下重さんが出迎えてくれた。日置先生の案内で、沖縄料理の昼食をとり、高速道路を一路喜如嘉に向かった。喜如嘉での1日目は、市田さんが経営する「小春屋」の傍で探鳥した。目の前で飛び交うサシバ、木の枝にぶら下がるオオコウモリ、オオシマゼミの大合唱等に驚き、ハブの話に足元が気になる沖縄での初日である。

ヤンバルの森

1日目の午後7時過ぎ、ヤンバル支部の久高さんの案内で、ヤンバルクイナを探すナイトツアーに出発した。夜のヤンバルの森は、明りがなく暗い。車のライトに照らされた舗装道路がくねくねと続く。久高さんが車を運転しながら、林道沿いの樹木の梢をライトで照らす。森の奥へ奥へと進み、しばらくして林道の真ん中に出てきたイシカワガエルを見つけ見せてくれた。美しい緑の地肌に大きな茶褐色の斑紋があり、大人の手の甲大である。天然記念物に指定されているヤンバルの貴重な住人だそうだ。

さて、目当てのヤンバルクイナはなかなか出てくれない。森の奥に進むにしたがい、林道には樹木が覆い被さり、小枝が車の窓を打つ、2時間余、時折小雨降る闇夜の探索が続く。あきらめかけた頃、ヤンバル支部の福永さんを見つけ、知らせに来てくれた。2班に分かれ、抜き足差し足で現場に向かった。林道から10m程奥まったタブの木の幹をライトが照らすと、赤いくちばしが闇夜に浮かび上がった。赤い目、胸の縞模様、茶褐色の背、凶鑑どおりである。まだまだ見たいが、久高さんの「あまりストレスを与えてはいけない」の声に促され2班と交代した。帰路、ダムの下の芝生で餌をついばむアマミヤマシギ2羽を見て11時過ぎ宿に着いた。

ヤンバルの森では、2日目早朝に市田さん、川那さん、3日目の早朝に久高さん、村山さん、日置教頭先生に案内していただきアカヒゲ、ノグチゲラを探した。2日目は時間切れで断念。3日目、前夜の交流会の余韻が残る早朝、林道の縁で待つこと10分余、藪の中を動き回るアカヒゲを見つけた。数年前奄美大島で見そなたったアカヒゲが、今、目の前で黒い胸を膨らませて歌っている。沖縄の皆さんに探していただいた1種である。ノグチゲラは、森の中で1時間余待つて見た。林冠部を飛び回り、30数メートルの高木に垂れ下がる薦？の実をついばむノグチゲラは地味な啄木鳥である。ヤンバルの森の貴重な鳥である。

ヤンバルの森は、林道が縦横に敷かれ、休日のためか車がよく行き来する。ゴ

ミが捨てられるためかハシブトカラスが増えているそうだ。今後、ヤンバルクイナやノグチゲラの生息への影響が気になった。

喜如嘉小学校

2日目早朝探鳥の後、喜如嘉小学校の子ども達の案内で、学校前の水田でバードウォッチングをした。午後は、そのお礼に学校のまわりのハブ除けネットの除草。夜は、喜如嘉小学校 PTA や地元ヤンバル支部の皆さんとの交流会と忙しく思い出に残る1日であった。喜如嘉小学校の皆さんに送ったお礼の手紙を紹介し

ます。

3 班の吉浜藍さん、宮城知美さん、中村萌さん、そして喜如嘉小学校の皆さん、楽しい探鳥会ありがとう。皆さんから教えていただいたヒクイナやリュウキュウヨシゴイのこと、一緒に名前を調べたムナグロの冬羽やヒバリシギ、チョウゲンボウなどなど忘れません。サギの足跡測ってくれましたね。11.5cmの足跡は何サギでしょうか？小さい板に乗せて流して見せてくれたカエルは、なぜ逃げないのでしょうか？

サシバが舞い、アオバズクが子育てをする山や学校。ヒクイナやリュウキュウヨシゴイが住み、渡りのシギが羽を休める畑や田んぼ。皆さんにとってはあたり前の喜如嘉の自然。ここの野鳥を毎日観察し記録を残す皆さんの活動が輝かしく、うらやましい限りです。

私たちは、たった3日間の滞在でしたが、喜如嘉の皆さんとの交流やヤンバルの森からたくさんのことを学び、大きな感動を得ました。ありがとうございました。(門口一雄)

喜如嘉小学校の皆さんお元気ですか。先日は、たくさんの鳥や「オクラレルカ (アイリス)」そしてススキで作るハブラシを教えて頂き、ありがとうございました。

喜如嘉小学校は、ブッポウソウやアミハラが子育てをする素晴らしい学校ですね。それにもまして、沢の水を引き、池や田んぼに利用したアイデアと実行力、ハブも恐れない勇気を持った日置教頭先生。田んぼの真ん中に冷たいお茶を用意し、ビデオを撮ってくれた優しい先生方。そして、忙しい中、交流会の準備をしてくださった、明るく親切なPTAの皆さん。お母さんのように優しく包み込んでくれる鳥博士の市田さん。農薬を減らし、生き物の住む環境を守ってくれる地域の方々に見守られ、伸び伸びと育っている皆さんがうらやましいです。

私の勤める八王子市立第三小学校は、街の中にあり、校庭は喜如嘉小学

校の半分位の広さで体育館は2階にあります。全校生徒は約600人、4年1組は41人でキューキュー詰めです。八王子にもどり、三小の子ども達に皆さんから教わったハブラシ作り、歌ってくれた「ぼくらの地球」や喜如嘉小学校のこと、ヤンハルの森のこと、沖縄のことを話しています。素晴らしい思い出をありがとう。(門口裕子)

帰路、金武川河口を村山さんに駆け足で案内していただいた。刈草を盛り上げた畔で見た迷鳥？2羽は何であったろうか。皆で図鑑をめくり、地元のバーダーと話し合ったが分からないままである。牛舎の近くでは、帰りの飛行機の時間を気にしつつホシムクドリの群れとキンムクドリを見た。

たった2泊3日の沖縄探鳥旅行であったが、初認9種を始め多くの野鳥やイシカワガエル、オオコウモリ、ヒメハブ、ツバニチョウ、マドボタル、オオシマゼミ等が見られたこと。喜如嘉の小学生の案内による探鳥会、草取りの支援と喜如嘉の皆さんと交流が出来たこと。など、貴重な体験をし、大きな感動を得た。

探鳥地の田畑を踏み荒らし、目当ての鳥を見て帰る方式を改め、野鳥の住む環境を守っている地元の方と交流を深める探鳥会を企画して下さった粕谷会長、下重さんそして喜如嘉の皆さんありがとうございました。

(確認した野鳥、鳥仲間は別掲の探鳥の記録を参照して下さい。)



（目） 思いでのヤンバルワーキング探鳥会

喜如嘉小学校 日置 恵

「先生あの鳥はなんですか」、「先生この図鑑のどの鳥ですか」、「先生あの鳥はこの図鑑のこの鳥だと思いますがどうでしょうか」と、喜如嘉のターブック（田圃）のあっちこっちで、先生、先生と呼ぶ声があった。喜如嘉小学校の児童（主に5・6年生）12名と八王子・日野カワセミ会のメンバー15名の声である。それは、大人が生徒で児童が先生の5つの集団で、フィールドスコープを覗いての声である。

11月24日午前にもたれたヤンバルワーキング探鳥会の一こま、児童に喜びと自信を与えたことと思います。感謝の至りです。

昼食後の小1時間ほどの学校の美化作業では、小人数の学校において普段手のまわらない箇所を清掃していただき大変助かりました。

夜の夕食・懇談会では喜如嘉小学校 PTA を中心としたメンバーが声や臭いを聞いて、またはかいで参加してもらいました。探鳥会メンバーのお里の歌や琉球の歌声、別れの最後に踊ったカチャーシー等、楽しく交流を持てたことは大変有意義であったと確信しております。

今回の探鳥会は、鳥を見るだけでなく、その地域に寄与することもねらいであると伺いました。そのねらいは、十分に達成されたのではないかと思います。

まず第一に、自然を大切にする児童に喜びと自信を与えたこと。第二に地元の方々に（私は南部都会の出身）自然を大切にすることは、産業に結びつくと改めて考えさせたこと。（自然の良さを見に来る人がいるということ）。

私にとっても、自然を大切にすることを機軸とした交流からの「児童の喜び」、「地域の方の喜び」は、教育公務員や、人間としての喜びであります。その喜びを与えていただいた。地元の方々、私を支えている学校職員、探鳥会の皆さん、そしてこの企画をしていただいた、下重さん、川那部さん、市田さんに感謝します。

最後に、このような試みを他地域においても実践なされ、「自然を大切にしていこう」、「全ての生きものを大切にしていこう」という機運をもっともっと盛り上げていくことを祈念いたします（2001.12.27）。

.....
注) この一文は、喜如嘉小学校教頭の日置恵様に依頼して寄稿していただいたものです。

鳥信 (主として2001年7月~12月)

取りまとめ: 粕谷 和夫

1. 冬鳥の初認

マガモ	2001/10/19	5+	高月浄水場・高月浄水場	神谷古牧	拝島6E
マガモ	2001/12/10	2羽	多摩川中央線鉄橋・ペアで居た。当地では今季初認。	神谷古牧	立川1B
コガモ	2001/9/20	2羽	八王子市石川町・自宅前の谷地川にて。雌或いはアルビノ。今季初認	神谷古牧	立川OB
コガモ	2001/9/25	4羽	川口川・明治橋上流	杉森熊二	拝島4C
オカヨシガモ	2001/11/4	2羽	八王子市高月町・高月浄水場池、♂2羽	粕谷和夫	拝島6E
ヒドリガモ	2001/10/9	2羽	八王子高月町・高月浄水場池	粕谷和夫	拝島6E
ヒドリガモ	2001/10/14	32羽	浅川・長沼橋下流側	佐藤哲郎	八王子9G
ヒドリガモ	2001/10/29	3羽	高月浄水場・♂1羽、♀2羽。今季初認。	神谷古牧	拝島6E
ヒドリガモ	2001/12/17	2羽	多摩川中央線鉄橋・ペアで居た。当地・今季初認。	神谷古牧	立川1B
オナガガモ	2001/10/1	9羽	多摩川谷地川合流部・上空を東に向かって飛ぶ。当地・今季初認。	神谷古牧	立川1B
オナガガモ	2001/10/6	1羽	川口川・川口小学校前の川岸	鈴木章七他	拝島2C
ユリカモメ	2001/10/16	3羽	多摩川中央線鉄橋・上空を下流に向かう。今季初認。	神谷古牧	立川1B
セグロカモメ	2001/11/3	1羽	浅川・浅川大橋、街灯の上、成鳥冬羽	倉本修	八王子7K
セグロカモメ	2001/11/20	1羽	多摩川谷地川合流部・下流から飛んで来て、頭上でゆっくりと旋回した後、上流へ向かう。今季初認。	神谷古牧	立川1B
セグロセキレイ	2001/4/17	1羽	平山城址公園:東京薬科大学の境目付近で囀り。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
タヒバリ	2001/11/3	1羽	多摩川谷地川合流部・岸辺を歩く。今季初認。	神谷古牧	立川1B
コマドリ	2001/4/17	1羽	平山城址公園と京王電鉄グラウンドの境目付近で囀り。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
コルリ	2001/4/17	1羽	長沼公園で初囀り。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ジョウビタキ	2001/10/15	1羽	谷地川新旭橋・独特の尾の振り方で、遠くから解る。雄、今季初認。	神谷古牧	立川1B
ジョウビタキ	2001/10/19	1羽	川町♂、我が家の庭の柿の木に	今井達郎	拝島1A
ジョウビタキ	2001/10/20	1羽	南浅川敷島橋北側・八信駐車場フェンス上、♂1羽、さえずり無し、カタカタと尾羽を振っていた	川上憲	八王子2G
ジョウビタキ	2001/10/21	1羽	自宅周辺、さかんに鳴きながらなわばりの確保か	清水盛通	拝島0A
ジョウビタキ	2001/10/21	1羽	小宮公園頂上付近で赤い実を食べていた	大川香	拝島7A
ジョウビタキ	2001/10/26	2羽	平山城址公園で今季初。公園北斜面で♀1、東京薬科大学駐車場で♂1。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
アカハラ	2001/11/9	1羽	小宮公園、墓地から公園に入った林の中	倉本修	拝島7A
アカハラ	2001/11/25	1羽	谷地川浄化施設付近グラウンド・北側の林で、一羽。今季初認。	神谷古牧	立川OB
シロハラ	2001/11/5	1羽	小宮公園、ひよどりの小道付近	倉本修	拝島7A
ツグミ	2001/10/29	1羽	元八王子3丁目・霞ヶ丘公園内、芝生の中の虫?を食べていた	川上憲	八王子2H
ツグミ	2001/10/31	1羽	北浅川・元木橋付近	柚木育子	拝島1B
ツグミ	2001/10/31	1羽	小宮公園頂上外部の元気農園のピラカンサの実を食べていた	大川征治 香	拝島7A
ヤブサメ	2001/4/10	1羽	長沼公園:頂上園地の北斜面で囀り。17日も。21日には平山城址公園でも囀りを聴いた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ウグイス	2001/2/28		長沼公園・当地、今季初の囀り。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ウグイス	2001/2/28	1羽	長沼公園・当地、今季初の囀り。	馬場裕・百合亜	八王子9G
センダイムシクイ	2001/4/21	1羽	平山城址公園で囀るのを視認。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
センダイムシクイ	2001/5/10	1羽	声のみ、極楽寺	古山隆	八王子6K
カシラダカ	2001/10/26	3羽	小宮公園東の墓地北側の合歡の木	大川征治	拝島7A
カシラダカ	2001/10/26	3羽	ヒヨドリ山の墓地100mほど北側の合歡の木	大川征治	拝島7A
カシラダカ	2001/11/20	2羽	芦原に頭の黒っぽい個体が二羽いた。今季初認。	神谷古牧	立川1B
アオジ	2001/10/25	1羽	長沼公園・当地、今季初。	馬場裕・百合亜	八王子9G
アオジ	2001/10/31	1羽	小宮公園上部ノムラサキシキブの木の中を地鳴きしながら移動	大川征治 香	拝島7A
ベニマシコ	2001/12/8	1羽	谷地川浄化施設・左岸の草むらから鳴き声。今季初認。	神谷古牧	立川OC
シメ	2001/10/26	3羽	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・三羽の♀が群れで、一本の木にとまる。今季初認。	神谷古牧	立川1B
シメ	2001/10/26	3羽	16号バイパス西側ヒヨドリ山(大谷古墳北側)200mの大木	大川征治	拝島7A
シメ	2001/10/26	3羽	ヒヨドリ山 大谷古墳北側200mの大木と桑の枯れ木の間を歩き来していた	大川征治 香	拝島7A

2. 通過

アマサギ	2001/5/19	2羽	高月町水田、繁殖羽	古山隆	拝島6E
ノビタキ	2001/9/30	2羽	多摩川・滝山下	佐伯直寛	拝島7D
ノビタキ	2001/10/9	1羽	みついで台東側畑地	新田茂	拝島6B
ノビタキ	2001/10/9	4羽	八王子高月町・高月水田、稲収穫後の田んぼに4羽、内1羽は顔黒型、渡り途中と思われる	粕谷和夫	拝島6E
ノビタキ	2001/10/20	1羽	小宮公園、北東側の牧草地、棚の上、♀タイプ	倉本修	拝島7A

キビタキ	2001/4/17	1羽	長沼公園、囀りはまだ練習中。9月27日、29日、10月16日、21日、26日にも居た。	馬場裕・百合亜	八王子9G
キビタキ	2001/4/20	1羽	八王子市堀の内の寺沢川の緑地にて、まだ未完成の囀り。21日には平山城址公園でも囀るのを視認。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
キビタキ	2001/10/26	1羽	小宮公園、ひよどり山、下の木道付近、♀タイプ	倉本修	拝島7A
キビタキ	2001/10/26	1羽	小宮公園弁天池近くの木道で墓地寄り。1羽キビタキと思はれる声を聞き蒲谷氏のCDでキビタキの地鳴きと確かめた(倉本 大川)	入川正石 香 田中英吉 倉本修	拝島7A
オオルリ	2001/5/6	1羽	谷野町・工学院大学野球場北西側、高圧線上でさえずり	新田茂	拝島5C
エゾビタキ	2001/10/13	1羽	多摩川・浅川合流付近	袖木領夫	武蔵府中4K
コサメビタキ	2001/9/27	1羽	陣場山直下の林道	大川征治、香倉本修	与瀬3H

3. 希少

カイツブリ	2001/7/27	1羽	多摩川中央線鉄橋・この時期にこの場所で見るとは珍しい	神谷古牧	立川1B
チュウサギ	2001/7/26	3羽	石川町自宅裏・谷地川上空を3羽の群が上流へ向かう。	神谷古牧	立川0B
チュウサギ	2001/8/5	1羽	八王子市高月町水田に15羽飛来	粕谷和夫	拝島6E
チュウサギ	2001/8/7	1羽	谷地川新旭橋・下流右岸の水田で、アオサギ1、ダイサギ2と共に居た。	神谷古牧	立川1B
チュウサギ	2001/9/3	1羽	谷地川下田橋下流・この場所、しかもこの季節には珍しい	神谷古牧	立川0B
チュウサギ	2001/11/8	1羽	高月浄水場・西側の水田にいた。嘴の色は、黒と黄色が混ざり合う。	神谷古牧	拝島6F
オシドリ	2001/9/29	1羽	北浅川・小田野中央公園付近、♀1	袖木育子	拝島1A
オシドリ	2001/10/31	1羽	北浅川・元木橋付近、♂1	袖木育子	拝島1B
オシドリ	2001/12/1	1羽	♂、北浅川元木橋上流40m地点でカルガモの群の中	今井達郎他	拝島1B
ヤマドリ	2001/9/7	2羽	高尾山・3号路	木村晴美他	八王子0E
ヤマドリ	2001/9/27	3羽	和田峠一陣場山の水場下斜面を雄1雌2が餌を探しながら移動	大川征治・香、 倉本修	与瀬3G
クイナ	2001/11/11	1羽	北浅川・陵北大橋付近	袖木育子	拝島2B
オオセグロカモメ	2001/2/18	1羽	浅川：長沼橋付近にて	馬場裕・百合亜	八王子9H
カモメ	2001/10/30	17羽	多摩川谷地川合流部・下流からやってきて、頭上でしばらく旋回した後、南の内陸に向かう。当地初認。	神谷古牧	立川1B
アオバト	2001/1/9	1羽	平山城址公園で鳴き声	馬場裕・百合亜	武蔵府中0G
アオバト	2001/5/22	1羽	長沼公園・さえずり。	馬場裕・百合亜	八王子9G
アオバト	2001/7/5	声	高尾山・1号路上	丸山二三夫	八王子0F
アオバト	2001/7/7	声	高尾山4号路頂上手前で声	粕谷和夫	与瀬9E
アオバト	2001/7/27	声	美山町・天合峰方面から声	袖木育子	拝島1B
アオバト	2001/8/3	1羽	高尾山・6号路琵琶滝上、声	木村晴美他	八王子0F
アオバト	2001/8/6	3羽	多摩川平の堰中州、早朝5時7分に飛来し、中州の枯れ枝に止まり、3分後に飛び立つ	粕谷和夫	拝島8C
アオバト	2001/9/27	1羽	陣場山山頂で北一西へ移動	大川征治、香倉本修	与瀬3H
アオバト	2001/9/29	2羽	城山湖、♂♀	佐伯直寛、門口一雄	八王子1C
アオバズク	2001/7/22	1羽	下恩方町深沢橋上流100m自宅付近。午前2:55。家の中にいると、外からホーホー、ホーホーという声を確認。	渡辺仁	拝島0A
アマツバメ	2001/10/11	2+羽	八王子市堀の内の東京農工大の上空で確認、当地初認。ヒメアマツバメ、イワツバメも一緒に飛翔。翌日には平山城址公園上空でも。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
アカゲラ	2001/1/31	2羽	長沼公園霧降の道西側の斜面。	馬場裕・百合亜	八王子9G
アカゲラ	2001/9/27	1羽	陣場山直下の林道 鳴きながら飛来	大川征治、香倉本修	与瀬3H
アカゲラ	2001/10/11	1羽	東京薬科大学そばの平山城址公園で確認。11月20日にも。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
アカゲラ	2001/10/16	1羽	長沼公園西側根根で。10月21日、26日、11月1日、20日、27日、12月31日にも。	馬場裕・百合亜	八王子9G
アカゲラ	2001/10/31	1羽	小宮公園木道ロータリー北のオニグルミの木に飛来	大川征治 香	拝島7A
アカゲラ	2001/12/3	1羽	谷地川浄化施設・ダム下左岸の灌木をつつきながら先端まで行き、ゆったりとした波状飛行で飛び去る。この付近では数年ぶりに出現。	神谷古牧	立川0C
アカゲラ	2001/12/10	1羽	谷地川浄化施設・キジバトが十数羽とまっている灌木をつつき回すが、キジバトは気にならない様子。	神谷古牧	立川0C
ツバメ	2001/8/15	1羽	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・電線に80羽のツバメがとまるが、1羽がアルビノ。撮影する。	神谷古牧	立川1B
コシアカツバメ	2001/8/11	1羽	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・草原の上を這うように上流へ飛ぶ	神谷古牧	立川1B
コシアカツバメ	2001/8/26	1羽	浅川・鶴巻橋と萩原橋の中間地点の上空を1羽飛んでいた。同じ場所にヒメアマツバメ、イワツバメ、ツバメの計4種が上空を飛翔していた。	倉本修	八王子5K
コシアカツバメ	2001/9/1	1羽	浅川・日野クリーンセンター前	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中4K
コシアカツバメ	2001/10/13	10+	多摩川、多摩川合流下流右岸の桜並木前・ひよどり山に至る林道上空を、十数羽の群れが舞う。当地で、このような群れで確認したのは初	神谷古牧	立川0C

イワミセキレイ	2001/12/24	1羽	15時半頃、川口川橋下流の中野橋と間の水際でイワミセキレイを発見しました。30分ほど観察したのですが、次の日以降、付近で見れてません。この時期いるという事はどこかちかくこの周辺で越冬してると思われます。24日もどこか瞬に向かう途中だったのかも知れません。	峯尾雄太	八王子6K
ビンズイ	2001/2/15	2羽	東京薬科大学で鳴き声も確認、当地初認。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ビンズイ	2001/10/20	1羽	小宮公園、北東側の牧草地	倉本修	拝島7A
サンショウクイ	2001/7/31	1羽	長沼公園絹ヶ丘口付近の東側尾根からの明瞭な声。 八王子市別所2丁目長池公園、午後2時頃長池公園でトンボの撮影をしていると、聞きなれない鳥の音が林の中から聞こえてきました。思い浮かんだのはサンショウクイの声。そのうちに林から飛び立った姿をシルエットで見ましたが、形からサンショウクイで間違い無いと思います。	馬場裕・百合亜	八王子9G
サンショウクイ	2001/9/8	1羽		登坂久雄	武蔵府中1C
チゴモズ	2001/7/18	2羽	新旭橋下流右岸水田・ナスの支柱に止まっていたが、一緒に飛んでいった。7/23、7/28にも各一羽であるが再認	神谷古牧	立川0C
カワガラス	2001/7/5	1羽	小仏川・梅郷橋下流70m地点から上流に向かって飛ぶ	丸山二三夫	八王子0G
ミソサザイ	2001/12/20	1羽	平山城址公園池の西側ヤマブキノソ保護区で鳴き声を確認。当地初認。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
カヤクグリ	2001/12/7	1羽	高尾山・6号路、水神左側近くを横切る	木村晴美他	八王子1F
カヤクグリ	2001/12/31	1羽	長池公園	登坂久雄	武蔵府中1C
イソヒヨドリ	2001/11/25	1羽	浅川・浅川大橋下流右岸側、護岸工事用のコンクリートブロックの仮置き場	倉本修	八王子7K
トラツグミ	2001/1/9	1羽	平山城址公園で確認	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
トラツグミ	2001/1/16	1羽	平山城址公園で視認。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
トラツグミ	2001/1/22	1羽	平山城址公園で視認+声も。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
トラツグミ	2001/1/23	1羽	平山城址公園で視認。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
トラツグミ	2001/10/30	1羽	小宮公園、ひよどりの小道付近	倉本修	拝島7A
トラツグミ	2001/11/11	1羽	小宮公園管理棟奥 木に止まる	大川征治 香	拝島7A
トラツグミ	2001/11/21	1羽	小宮公園、ひよどりの小道付近	倉本修	拝島7A
アカハラ	2001/4/27	1羽	長沼公園・霧降の道	馬場裕・百合亜	八王子9G
クイタダキ	2001/9/7	2羽	高尾山・3号路	木村晴美他	八王子0F
クイタダキ	2001/10/15	2羽	板当林道500m地点・カラ類との混群の中、姿確認	粕谷和夫	与瀬9K
クイタダキ	2001/11/18	2羽	八王子市美山町・天合峰の尾根、赤松林でカラ類の混群の中	粕谷和夫	拝島1C
コサメビタキ	2001/10/8	1羽	北浅川・タヤけ橋下流5m右岸の木に止まる	今井達郎他	拝島1A
ヒガラ	2001/2/15	1羽	長沼公園・霧降の道 変りヤマガラ。オーストン色で胸の黒色、頬の白色なし。声はニイニイとヤマガラにそっくり。調査開始一弁慶ヤマガラらしい。ひよどり山の植木畑内通路	馬場裕・百合亜	八王子9G
ヤマガラ	2001/12/26	1羽		大川征治	拝島8A
クロジ	2001/12/7	2羽	高尾山・6号路、水神左側近くを横切る	木村晴美他	八王子1F
アトリ	2001/8/29	18羽	長沼公園・絹ヶ丘口南側の林から井戸たわ尾根へ群飛。 八王子市美山町・天合峰の尾根、状況：赤松林でカラ類の混群（エナガ約10羽、ヤマガラ4羽、シジュウカラ10羽、クイタダキ2羽、コゲラ1羽）の中に2羽のマヒワが混じっていた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
マヒワ	2001/11/18	2羽		粕谷和夫	拝島1C
ベニマシコ	2001/11/11	声	北浅川 陵北大橋下流グランド付近 声のみ	探鳥会参加者	拝島2B
ベニマシコ	2001/12/23	1羽	長池公園、24日には2羽いづれもメス。	登坂久雄	武蔵府中1C
ウソ	2001/11/19	1羽	小宮公園木道ロータリー付近。木々をゆっくり移動。この地では始めて見ました 天合峰紙屋入、エナガ中心のカラの混群通過後、ウソの声が聞こえてきた。段々声が近づいてきて、頭上の木の枝に止まる。ウソ同士お互いに鳴き交わす。姿も確認。♀♀両方あり、赤ウソは無し。最初4羽確認し、その後さらに4羽位確認。	大川征治 香	拝島7A
ウソ	2001/12/8	8羽		粕谷和夫他	拝島1C
ウソ	2001/12/31	1羽	長沼公園西尾根で囀る。	馬場裕・百合亜	八王子9G

4. 猛禽

ハチクマ	2001/9/1	1羽	北浅川・松竹公園北西上空を旋回しながら上昇、北西の山陰へ、頭が細く、翼の後縁の膨らみがクマタカより少ないと思われた	今井達郎他	八王子0K
オオタカ	2001/1/16	1羽	東京農工大学～東京薬科大学上空を飛翔。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
オオタカ	2001/2/18	1羽	長沼公園より、絹ヶ丘団地北東上空から16号線バイパス上空方面を飛翔。	馬場裕・百合亜	八王子8F
オオタカ	2001/7/1	1羽	多摩川平の堰・ツバメの購入り観察中、オオタカの若鳥が現れ、ツバメにモビングされ、宇津木台方面に飛び去る。	神谷古牧	拝島8C
オオタカ	2001/7/7	1羽	北浅川・宝生寺団地東側の無線塔に止まる	今井達郎他	拝島2C
オオタカ	2001/7/11	1羽	高尾の多摩森林科学園前、高尾街道で信号待ちしていると目を1羽のオオタカが獲物（ネズミ大）を足で掴みながら森林科学園の方から飛翔、多摩御陵の林の中に飛び込んだ。	粕谷和夫	八王子2H
オオタカ	2001/7/31	1羽	多摩川平の堰・ツバメの購入りを観察中、中州方面から飛来し、宇津木台へ向かう一瞬であったので、購入りしたツバメに変化はなかった	神谷古牧	拝島8C
オオタカ	2001/8/4	1羽	北浅川・心源院南方の1本松に止まる 1羽	今井達郎他	八王子0K

オオタカ	2001/9/1	1羽	浅川・多摩川合流付近(日野クリーンセンター前)	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中4K
オオタカ	2001/9/18	1羽	浅川・新浅川橋～中央線鉄橋間の水管橋下流あたりの水たまりに脚、尾先が水につかる位のところにじっとずくまり、周囲に6羽のハシボソガラスが遠巻きに騒いでいた。	新村哲也	八王子8H
オオタカ	2001/10/10	1羽	谷地川下田橋・二羽のガラスに追われながら、訓練飛行中の伝書鳩の群につっこむが、ハンティングには失敗。付近の木立に消える。	神谷古牧	立川0B
オオタカ	2001/10/23	1羽	宝生団地横鉄塔上空をトビ3羽と飛翔	河村洋子 他	拝島2C
オオタカ	2001/11/3	2羽	北浅川・心源院南方の本松に止まる1羽(八王子OK)、夕焼け橋上流でガラスにモビングされ上流に飛び去る1羽(拝島1A)	今井達郎他	拝島1A、八王子OK
オオタカ	2001/11/11	1羽	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・コサギを狙うが、捕獲できず、下流へ向かう。コサギより翼長が短いことが解る。	神谷古牧	立川1B
オオタカ	2001/11/11	1羽	北浅川 天使病院上空を飛翔	河村洋子 他	拝島2B
オオタカ	2001/11/15	1羽	平山城址公園：東京農工大学の上空を飛翔。12月20日にも。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
オオタカ	2001/11/26	1羽	八王子市石川町・自宅前に現れ、向井の家の陰に隠れて見失う。	神谷古牧	立川0B
オオタカ	2001/11/27	1羽	中州の見張り木付近にとまる。	神谷古牧	立川1C
オオタカ	2001/11/28	1羽	高月浄水場・北側の秋川と多摩川に挟まれた中州の木にいた。	神谷古牧	拝島6F
オオタカ	2001/11/29	1羽	多摩川谷地川合流部・中州下流端付近の木に、カワラヒワ、ツグミ、シメ計20羽ぐらいに取り囲まれて止まる。胸にきれいな横斑のあるオオタカらしい個体。	神谷古牧	立川1B
オオタカ	2001/12/1	2羽	北浅川・陵北大橋と元木橋の間上空でガラスのモビングを受ける1羽(拝島1B)、東大沢橋下流100m付近の屈曲点の西方上空1羽(八王子OK)	今井達郎他	拝島1B、八王子OK
オオタカ	2001/12/2	1羽	谷地川田島橋・谷地川緑道入り口前の流心にガラス二羽が交互に急降下を繰り返す。オオタカが水中にコガモを押さえつけている。5分ほどして、左岸の岸辺に引きずってきて食べ始める。(このころガラスは居なくなる)渡し視線を気にしながら、20分ほどかかって、食べる。脇は引きずり出して捨てている。写真撮影できる。	神谷古牧	拝島9B
オオタカ	2001/12/7	1羽	ひよどり山16号バイパス寄り 旋回上昇	大川征治 香	拝島8A
オオタカ	2001/12/27	1羽	谷地川浄化施設・ダム左岸の低い灌木に止まる。胸の横斑がきれいな個体だ。やがて獲物を見つけたのか、谷地川の流れすれすれを、下流に向かって飛んで行くが、土手に隠れて、見失う。	神谷古牧	立川0C
オオタカ	2001/12/28	1羽	谷地川浄化施設付近グランド・グランド北側奥にある木の低いところに止まる。朝日を受けた胸が真っ白に光って、美しい。	神谷古牧	立川0C
ツミ	2001/9/18		長沼公園草広場の桜の木で毛虫を捕らえて喰べていた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ツミ	2001/9/18	1羽	長沼公園草広場の桜の木で毛虫を捕らえて喰べていた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ツミ	2001/9/20		八王子市堀の内寺沢川そばの桑畑のアマチュア無線アンテナにとまっていた。羽づくろいの後、ブタ小屋の木へ移る。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ツミ	2001/9/20	1羽	八王子市堀の内寺沢川そばの桑畑のアマチュア無線アンテナにとまっていた。羽づくろいの後、ブタ小屋の木へ移る。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ツミ	2001/10/9	1羽	高圧線鉄塔にとまったりガラス数羽にモビングされたりを繰り返していた。飛ながらもずに似た声でキキキ鳴いていた。	大川征治	拝島8A
ツミ	2001/10/26	1羽	小宮公園木道ルタリーカケスが3羽飛び回っていたので、双眼鏡で追っていたらツミ雌が1羽横枝にとまった。追うようにカケスが近づく同じ枝に止まり攻撃してツミは追い出されカケスに追われて飛び去った	大川征治 香 田中英吉 倉本修	拝島7A
ツミ	2001/10/30		長沼公園網ヶ丘口の広場上空でハシボソガラスにモビングされていた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ツミ	2001/10/30	1羽	長沼公園網ヶ丘口の広場上空でハシボソガラスにモビングされていた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ツミ	2001/11/11	1羽	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・中州の林に止まっていた。	神谷古牧	立川1C
ツミ	2001/12/1	1羽	北浅川・河原宿橋西方上空を飛翔中	今井達郎他	拝島1A
ハイタカ	2001/9/1	3羽	北浅川・松竹公園の西方上空を飛翔中、羽ばたきがオオタカと異なる	今井達郎他	八王子OK
ハイタカ	2001/10/23	1羽	北浅川 天使病院付近から対岸へ低空飛翔	河村洋子 他	拝島2B
ハイタカ	2001/12/1	1羽	北浅川・松竹公園の北西上空でガラスのモビングを受けていた	今井達郎他	八王子OK
ノスリ	2001/1/16	1羽	東京薬科大学の東側上空を通過。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ノスリ	2001/1/23	1羽	平山城址公園上空。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ノスリ	2001/1/31	1羽	長沼公園網ヶ丘口広場の上空。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ノスリ	2001/7/7	1羽	北浅川・恩方第1小学校前で南方上空を飛翔中	今井達郎他	八王子OK
ノスリ	2001/8/3	1羽	高尾山・6号路入り口付近上空	木村晴美他	八王子1F
ノスリ	2001/9/1	1羽	北浅川・松竹公園で西方上空を飛翔中	今井達郎他	八王子OK
ノスリ	2001/10/8	2羽	北浅川・小田野中央公園北西上空飛翔中1羽(拝島1A)、深沢橋下流10m西方上空に1羽(拝島0A)	今井達郎他	拝島0A、1A
ノスリ	2001/11/2	1羽	高尾山6号路入り口付近上空	木村晴美他	八王子1F
ノスリ	2001/11/11	1羽	北浅川 天使病院対岸上空を飛翔	河村洋子 他	拝島2B
ノスリ	2001/11/11	1羽	谷地川浄化施設・ダム下流の木から飛び立つ。今季初認。	神谷古牧	立川0C
ノスリ	2001/11/27	1羽	長沼公園網ヶ丘口広場の上空。12月11日にもペアらしい2羽。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ノスリ	2001/12/1	2羽	北浅川・河原宿橋北西上空を飛翔中(拝島1A)、松竹公園で上空飛翔中(八王子OK)	今井達郎他	拝島1A、八王子OK

ノスリ	2001/12/7	1羽	高尾山・6号路、第一ベンチ上空	木村晴美他	八王子0F
ノスリ	2001/12/7	1羽	小宮公園の下の駐車場 カラの混群を見ていたら急に騒がしくなったので上空を見たらノスリが旋回通過中	大川征治 香	拝島7A
ノスリ	2001/12/8	2羽	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・中州上空をとり、ワンド付近の木に止まると、そこにはもう一羽のノスリが止まっていた。	神谷古牧	立川1C
ノスリ	2001/12/16	2羽	浅川・多摩川合流部	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中4K
ノスリ	2001/12/17	1羽	谷地川浄化施設付近グラウンド・北側の林の木で、5~6羽のオナガに取り囲まれていた。	神谷古牧	立川1C
ノスリ	2001/12/25	1羽	長沼公園霧降の道の上空。鳴きながら飛翔。	馬場裕・百合亜	八王子9G
サシバ	2001/9/25	3羽	長沼公園霧降の道堰堤上空から南へ飛翔。渡りと思われた。そばのヒヨドリがサシバの鳴きまねをした。	馬場裕・百合亜	八王子9G
サシバ	2001/10/14	1羽	自宅上空、旋回上昇後西南西へ(小仏・城山方向)	清水盛通	拝島0A
ハイロチュウヒ	2001/11/11	1羽	北浅川 松枝橋~松枝住宅グラウンド付近を低空で往復飛翔 ♀	河村洋子 他	拝島3B4B
ハヤブサ	2001/3/20	1羽	多摩川、拝島堰下流側右岸、樹に止まる、若鳥	古山隆	拝島6E
ハヤブサ	2001/9/1	1羽	北浅川・松竹公園で2度見るが、同一個体と思われる	今井達郎他	八王子0K
チョウゲンボウ	2001/2/28	1羽	長沼公園・東榎尾根から西の北野市街へ。	馬場裕・百合亜	八王子9G
チョウゲンボウ	2001/3/30	1羽	長沼公園・脚に小鳥大のエサを掴んで浅川方向に飛行	馬場裕・百合亜	八王子9G
チョウゲンボウ	2001/3/31	1羽	長沼公園・脚に小鳥大のエサを掴んで浅川方向に飛行	馬場裕・百合亜	八王子9G
チョウゲンボウ	2001/4/15	1羽	多摩川右岸多摩大橋下流(通称ひょうたん池付近上空)、帆船と急降下高月浄水場・施設の屋上に止まる。頭がグレーに見えるので、雄と思われる。	神谷古牧	立川0C
チョウゲンボウ	2001/7/27	1羽	北浅川・元木橋上流左岸上空で発見、南へ飛び去る	神谷古牧	拝島6F
チョウゲンボウ	2001/9/1	1羽	北浅川・元木橋上流左岸上空で発見、南へ飛び去る	今井達郎他	拝島1A
チョウゲンボウ	2001/9/1	1羽	浅川・日野クリーンセンター前	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中4K
チョウゲンボウ	2001/9/18	2羽	浅川・新浅川橋~中央線鉄橋間の水管橋上流の電線や鉄塔あるいは中洲に移動しながら、ハシボンガラスが時々追いかけてまわっていた。15分以上この状態が続いていた。	新村哲也	八王子8J
チョウゲンボウ	2001/9/26	2羽	浅川・浅川橋15m程下流の右岸から左岸へハクセキレイ2羽にモビングされながら飛び去った。	倉本修	八王子6K
チョウゲンボウ	2001/10/22	1羽	谷地川浄化施設・右岸のサーチライトに止まる。20~30mまで近づくと、飛び立ち、低い高度のまま多摩川上流方向に飛び去る。	神谷古牧	立川0C
チョウゲンボウ	2001/10/24	1羽	浅川・市役所屋上に止まっていたが、カラスに追い出されて上流に飛び去った	倉本修	八王子5K
チョウゲンボウ	2001/10/26	1羽	長沼公園網ヶ丘口上空。今年生まれの若鳥。10月30日には成鳥2羽も。	馬場裕・百合亜	八王子9G
チョウゲンボウ	2001/11/5	1羽	高月浄水場・いつもの桜の木に、いつもの♀。	神谷古牧	拝島6E
チョウゲンボウ	2001/11/11	1羽	北浅川 松枝住宅グラウンド上空を飛翔	河村洋子 他	拝島3B
チョウゲンボウ	2001/11/16	1羽	小宮公園頂上部を低く飛んだ後旋回上昇	大川征治 香	拝島8A
チョウゲンボウ	2001/12/28	1羽	浅川・中央線鉄橋上流の水管橋下流灌漑木の中で毛づくろい中	新村哲也	八王子8H
フクロウ	2001/8/5	1羽	巢立ち直後の幼鳥、八王子市第七小学校付近	小池一男、粕谷和夫	八王子6J
オオタカ&ノスリ	2001/12/19	1羽	谷地川浄化施設付近グラウンド・北側の林にカラスに追われたノスリが、オオタカの止まっている木に来る。カラスは標的をオオタカに変えて、近づいていく。	神谷古牧	立川0C
ムナグロ	2001/8/11	3羽	浅川・日野市民プール前	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中2K
タゲリ	2001/11/11	1羽	北浅川 松枝住宅グラウンド上空を飛翔 下流へ飛んでいく	河村洋子 他	拝島3B4B
ハマシギ	2001/12/16	48羽	浅川・日野市民プール前、10数羽づつ3個の群になっていた	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中2K
クサシギ	2001/10/14	1羽	浅川・多摩川合流付近(合流から200m上流の取水堰50m上流、雑木林の対岸)	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中4K
クサシギ	2001/10/23	1羽	北浅川 松枝住宅グラウンド下 川べりを歩く	河村洋子 他	拝島3B
クサシギ	2001/11/11	1羽	北浅川 松枝住宅グラウンド下 川べりを歩く	河村洋子 他	拝島3B
クサシギ	2001/12/15	1羽	北浅川 松枝住宅グラウンド下 川べりを歩く	河村洋子 他	拝島3B
クサシギ	2001/12/15	1羽	北浅川 天使病院付近堰	河村洋子 他	拝島2B

6. 託卵鳥

カッコウ	2001/8/25	1羽	小宮公園・更新伐採地の周縁枯れ木。口足黄色で胸に横縞ありカッコウとしたが他のとけんかも	大川香	拝島7A
ツツドリ	2001/8/15	1羽	谷地川、多摩川合流部・右岸のオニグルミの木に付いた毛虫を食べるが、近づくとケヤキの木に移動。写真に撮ることができた。	神谷古牧	立川1B
ツツドリ	2001/9/8	1羽	桜並木の中を細かく移動。人の気配に敏感。	神谷古牧	立川1B
ツツドリ	2001/9/20	2羽	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・桜並木の中を連れ立って往復した後、中州に飛んでいった。	神谷古牧	立川1B
ツツドリ	2001/10/4	1羽	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・素早く、桜の木を渡り歩く。	神谷古牧	立川1B
ホトトギス	2001/5/26	1羽	片倉城跡公園二の丸方向、湯殿川沿いより声	小池一男	八王子7G

ホトトギス	2001/5/31	1羽	長沼公園の展望園地の樹冠で、盛んに囀る。その後、7月31日までは確認。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ホトトギス	2001/6/5	1羽	板当林道(入り口から300m地点)	粕谷和夫	与瀬9K
ホトトギス	2001/7/5	声	高尾山・2号路上	丸山二三夫	八王子0F
ホトトギス	2001/7/6	1羽	高尾山・6号路入り口付近	木村晴美他	八王子1F
ホトトギス	2001/7/7	声	高尾山4号路いろは道合流付近と頂上付近で声	粕谷和夫	与瀬9E
ホトトギス	2001/7/20	1羽	板当林道(入り口から900m地点)	粕谷和夫	与瀬9K
ホトトギス	2001/8/5	1羽	八王子市石川町自宅前・向かいの家の林から鳴き声。	神谷古牧	立川0B
ツバメ	2001/7/28	40+	谷地川浄化施設上流・畷入り・両岸の草原に、畷入りする。20時前にライトで照らして再認	神谷古牧	立川0C
ハクセキレイ	2001/10/19	120羽	集団ねぐら、JR八王子駅前京王プラザホテル前のイチヨウ1本、就隣前の集合場所のメインは京王プラザホテル屋上、一部そごうデパート屋上、17時00分~17時17分(辺りが薄暗くなった時間帯)の17分間に120羽のハクセキレイが1本のイチヨウ樹に入る。	粕谷和夫	八王子7J
スズメ	2001/10/23	50羽	谷地川滝山橋右岸上流側岸辺の竹林、16時40分頃からねぐら入り、50羽以上	粕谷和夫	拝島6C
ハシボソガラス	2001/8/9	200羽	八王子市谷野町、谷野街道沿いの中古自動車販売店CAMEL AUTO前、雑木林、ハシボソガラス400羽と混在の計600羽の集団	新田茂	拝島6B
ハシボソガラス	2001/8/9	400羽	八王子市谷野町、谷野街道沿いの中古自動車販売店CAMEL AUTO前、雑木林、ハシボソガラス200羽と混在の計600羽の集団	新田茂	拝島6B
8. 繁殖					
カルガモ	2001/7/7	9羽	谷地川多摩川合流部・親子かなり大きくなった8羽の子ずれ。	神谷古牧	立川1B
カルガモ	2001/8/5	2羽	小宮公園弁天池、雛1若1	大川征治他	拝島7A
オオタカ	2001/6/4	3羽	物のはやくして巣の中。雛1羽は生後10~12日の2羽のヒナ。1方の体色はグレー味の白、翼は黒線がハッキリ。嘴の先は黒、付け根はレモンイエロー。巣の中で、羽をばたかす。	馬場裕・百合亜	
チョウゲンボウ	2001/3/17	2羽	八王子市横山町、ビルの看板、交尾	古山隆	八王子7J
キジ	2001/8/4	1家族	大谷町・ヒヨドリ山畑地雛1 幼鳥5 餌を探しながら移動	大川征治他	拝島8A
コチドリ	2001/5/12	4羽	浅川・日野市民プール前上流、雛2羽連れ	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中2K
イカルチドリ	2001/6/2	2羽	浅川・日野市民プール前上流、雛2羽	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中2K
イソシギ	2001/6/2	2羽	浅川・日野市民プール前上流、雛2羽	門口一雄、青木繁昌	武蔵府中2K
キジバト	2001/9/30	2羽	小仏城山山頂、2羽のキジバトが交尾、時期はずれのような気がしたが、キジバトの繁殖期は1年中とも言われているので、時期はずれではないかも知れない。	粕谷和夫	与瀬7F
カワセミ	2001/6/7	1羽	長沼公園・ひよどり沢で飛翔中独特の鳴き声。	馬場裕・百合亜	八王子9G
カワセミ	2001/8/5	1家族	小宮公園弁天池、雄雌1番幼鳥、数回池に飛び込み1回成功、池端の柿の木に留ったり池中の枯れ木に3羽でとまったりした	大川征治他	拝島7A
セグロセキレイ	2001/7/15	5羽	谷地川多摩川合流部・親子・1+1、1+2の親子二組。	神谷古牧	立川1B
モズ	2001/3/30	2羽	長沼公園・交尾の声	馬場裕・百合亜	八王子9G
モズ	2001/3/31		長沼公園・交尾の声	馬場裕・百合亜	八王子9G
モズ	2001/7/11	3羽	谷地川浄化施設・幼鳥、左岸の電線に三羽。内一羽は確実に幼鳥。その他不明。	神谷古牧	立川0C
モズ	2001/7/15	5羽	谷地川浄化施設・親子・左岸の電線、フェンスに親1、幼鳥4。幼鳥は瘦せていて、頭でっかちに見える。	神谷古牧	立川0C
クロツグミ	2001/7/20	5羽	板当林道(入り口から450m地点)、巣立ち雛連れ親子	粕谷和夫	与瀬9K
クロツグミ	2001/7/20	2羽	板当林道(入り口から300m地点)、巣と巣中にメス	粕谷和夫	与瀬9K
キビタキ	2001/5/18	2羽	長沼公園・ひよどり沢で親子。その後、親を7月26日まで見聞きする。	馬場裕・百合亜	八王子9G
キビタキ	2001/7/14	2羽	天合峰・谷戸の沖、聞きなれない声で盛んに鳴く1羽の鳥を注意深く見ていると、キビタキ親鳥が来て雛に餌を与えた	粕谷和夫他	拝島0C
サンコウチョウ	2001/7/20	3羽	板当林道(入り口から1000m地点)、巣立ち雛連れ親子	粕谷和夫	与瀬9K
エナガ	2001/2/21	1羽	長沼公園・殿ヶ谷沢で幹についているコケを幾度も川向こうの藪へ運んでいた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
エナガ	2001/2/28	2羽	長沼公園・樹枝からクモの巣?を取り出して運ぶ。	馬場裕・百合亜	八王子9G

エナガ	2001/2/28	2羽	長沼公園・樹枝からクモの巣？を取り出して運ぶ。	馬場裕・百合亜	八王子9G
エナガ	2001/5/31	10+	長沼公園中央の林、幼鳥を含むファミリー集団。	馬場裕・百合亜	八王子9G
エナガ	2001/7/20	5羽	板当林道（入り口から1000m地点）、巣立ち雛連れ親子	粕谷和夫	与瀬9K
シジュウカラ	2001/5/22	10+	長沼公園、幼鳥が多く集まって集団で採餌。21日夕方にも。	馬場裕・百合亜	八王子9G
イカル	2001/9/5	1家族	八王子市みなみ野・JR横浜線八王子みなみ野駅駐輪場、お椀型のツバメの巣に巣材を運び込み営巣、巣中にヒナ有り、親が給餌中、開放型のスズメの巣は珍しい	粕谷和夫	立川10B
スズメ	2001/8/4	1番	下恩方町深沢橋上流100m北浅川。オナガが群れて水浴びしている。その中に口の中が赤い巣立ち雛が混じっている。	粕谷和夫	八王子6F
オナガ	2001/7/22	10羽		渡辺仁	拝島0A

松が谷（多摩ニュータウン）自宅の北側の窓の真正面にある松の木にカラスが巣を作った。1度卵らしきものを見たが巣を明ける時は、見えないように隠して行く。その間シジュウカラが産毛を盗んでいた。10日過ぎになって2羽の雛が誕生した。私が椅子から立ち上がったと親ガラスは大騒ぎする。雛はグロテスクだった。スズメが雛を覗きに来た。だが、この雛は暑さにやられたか2週間を過ぎた頃から、全く顔を上げなくなった。親も来なくなった。ところが、そこから数メートルの所のエンジュの木にまた巣を作った。今度は立ち上がって窓の所に立たないと見えない。そこで窓の所に望遠鏡を置いて見ることにした。私が立つと親はやはり大騒ぎする。卵は3つだった。雛が生まれ今度は順調に育った。巣立ちがまた面白かった。2羽は近くの枝に降りたが最後の雛はポトンと地面に落ちた。私が雛のそばに行こうとすると親は威嚇してきた。松が谷生まれのカラスはしばらくの間、この近辺で過ごしていたが、やがて秋が訪れた頃からあまり姿を見せなくなった。なお、これは始めハシブとハシブの子だと思ったのですが、ハシブは卵や雛を狙って来たようで、やはりハシブソガラスでした。

佐藤サヨ子 武蔵府中3F

ガビチョウが我が家の庭に巣を作りました。しかし、発見から3日目に放棄してしまいました。誠に残念でしたが、ガビチョウの巣は大変珍しいので、その状況を報告いたします。

7月7日の午後に、我が家の北側（道路に面している）にある南天の木の茂み（細い幹が20本ほど纏って生えている）の蜘蛛の巣を払うつもりで、箒でこの茂みを払った所、中からガビチョウが飛び出した。4〜5日前からガビチョウが我が家の庭に現れ、うるさく鳴き交わっていたので、巣かもしれないと感じ、外から眺めたが分からない。15分位外回りの仕事をした後、この南天の木は風呂場に接しているので、風呂場の窓から覗くと巣にはガビチョウが戻って座っている。丁度ヒヨドリの巢位の大きさを尾を巣からはみ出している。ガビチョウと私の間は窓の格子と網戸があるが、その距離は50cmくらいで、眺めている私をガビチョウも見ているが動こうともしない。夕刻山の方からガビチョウの音がすると、この巣の中のガビチョウが大声で答えているようだ。風呂場に反響するその声は、家中に響きわたった。

今井達郎他 拝島1A

7月8日は1日中巣から離れないようであった。何回見に行ったか数え切れない。夜中に最近はまだ鳴かない猫の鳴き声がしきりにするので胸騒ぎがした。

7月8日朝見ると、巣が5cmほどずり落ち、ガビチョウは居ず卵もなかった。その原因が猫にあるかどうかは判らないが、巣の構造はまことに雑で、基盤は枯れた蔓状の細長い植物繊維と枯葉からなり、その上に枯れた松葉及び同じ太さの枯葉を円形に綺麗に敷き産座としている。これでは、自然にずり落ちるのも当然と思われた。巣の位置は地上150cmの高さに造られていた。

9. 行動

カワウ	2001/3/9	1羽	案内川・京王高尾山口駅前の川の深みに降りる。隣にカワセミ1羽。	粕谷和夫	八王子1F
カワウ混群	2001/11/2	混群	多摩川の谷地川合流下流右岸の桜並木前・中州上空で、上流側からカワウ90+コサギ30、下流側からカワウ40+ダイサギ15の群れが交差するが、トラブル無く互いに見事にすり抜ける。	神谷古牧	立川1C
チュウサギ	2001/8/18	1羽	大谷町・ヒヨドリ山牧草地・草野中で虫を採食	デジカメ撮影	大川征治他
チュウサギ	2001/11/4	1羽	八王子市高月町・稲刈後後の田んぼでドジョウを捕まえて食べていた	粕谷和夫	拝島6E
コサギ	2001/5/19	13羽	浅川、浅川橋上流側、群で採餌、ダイサギ1羽も混じる、この時期群は珍しい	古山隆	八王子6K
コサギ	2001/8/2	30羽	高月浄水場・池の橋立にうずくまっている30羽ほどのカルガモに混ざり、コサギもうずくまって休んでいる。うずくまるのはめずらしい。	神谷古牧	拝島6F

コサギ&猫	2001/8/10	各1	谷地川下田橋下流・獲物を狙うように川の中に猫が入ってくる。ネコの腹が水に浸かる深さだ。それを見つけたコサギが猫のすぐ上を激しく泣きながら旋回する。やがて、川を挟んで対峙し睨み合いとなる。(写真あり)	神谷古牧	立川0B
コサギ	2001/9/8	2羽	谷地川新旭橋上流・川の流心で、1羽がもう1羽の上に乗って、押さえ込むようにしている。交尾ではなさそうで、力関係を表現した、マウンティングか?	神谷古牧	立川1B
カルガモ	2001/7/7	2羽	案内川・高尾山口駅付近、川にいた2羽のカルガモに1羽のハシブトガラスが近づいたが、1羽のカルガモが嘴でつついて追い払う	粕谷和夫	八王子1F
カルガモ	2001/7/24	13羽	中央線鉄橋上流多摩川・雨で減水して、流れが緩くなり本流中央に藻が大量に発生しカルガモが集団で捕食	神谷古牧	立川1B
コガモ	2001/7/1	1羽	♂、浅川、暁橋下流側、越夏	古山隆	八王子7K
ツバメ	2001/7/15	8羽	谷地川浄化施設・右岸のグラウンドで、若鳥ばかりが砂をついばむ。	神谷古牧	立川0C
ツバメ	2001/7/18	15羽	日野市万願寺・浅川左岸の20アール程度の稲の植わっている田んぼに15羽ものツバメが集まり、低く飛び交い、餌場としていた	粕谷和夫	武蔵府中3K
タヒバリ	2001/10/31	1羽	小宮公園東側牧草地で採餌 ハクセキレイが近づき追われて飛び去る	大川征治 香	拝島7A
モズ	2001/12/16	1羽	高尾町・高月水田、モズ1羽が田んぼにいる2~3羽のハクセキレイを何回も追うが全て捕獲失敗	粕谷和夫	拝島6E
ルリビタキ	2001/1/29	1羽	平山城址公園で水浴び。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ルリビタキ	2001/11/29	1羽	長沼公園・さえずり。♂1	馬場裕・百合亜	八王子9G
ジョウビタキ	2001/10/25	1羽	8:25頃、高尾町1753番地の駐車場北側の電線上でジョウビタキが囀っていた。	横山由美子	八王子2G
ジョウビタキ	2001/10/28	1羽	8:25頃、高尾町1753番地の駐車場北側の電線上でジョウビタキが囀り	横山由美子	八王子2G
アカハラ	2001/12/13	1羽	谷地川浄化施設付近グラウンド・北側の林で、一羽のツグミを追い払う。ツグミが去った後、何時までも鳴く。	神谷古牧	立川0C
シロハラ	2001/1/22	1羽	平山城址公園でヒサカキの木に止まって実を食べていた。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
オオヨシキリ	2001/9/8	2羽	多摩川、多摩大橋下流右岸ひょうたん池・魚を捕っている若いカワセミを二羽のオオヨシキリがついて回る。魚を捕ったカワセミは、あわてて飲み込むが、やはりついて回る。距離は常に一メートル以内。	神谷古牧	立川0C
センダイムシクイ	2001/8/29	1羽	長沼公園・霧降の道の中尾根分岐より下流の木で虫を捕るためにコナラの枝でウロウロ。	馬場裕・百合亜	八王子9G
センダイムシクイ	2001/8/29	1羽	長沼公園・霧降の道の中尾根分岐より下流の木で虫を捕るためにコナラの枝でウロウロ。	馬場裕・百合亜	八王子9G
イカル	2001/8/10	20羽	八王子市裏高尾町・小仏川右岸・駒田野病院付近、約20羽のイカルが1本のエノキに群がり独特の音を出しながら実を割って食べる。	粕谷和夫	八王子1G
イカル	2001/9/14	約50羽	小宮公園頂上付近とひよどり山の間を群れて飛び回り時々エノキにとまりその実をバチバチ音をたてて食べていた。	大川征治、香	拝島7A
オナガ	2001/8/25	5羽	日野市栄町・多摩川と谷地川の合流付近、5羽のオナガが農家庭角に植わっているイチジクの熟果を食べに集まる。	粕谷和夫	立川0B

10. 事故

カルガモ	2001/8/6	1羽	八王子市平町・多摩川平堰、カルガモ死体1羽、堰上の水面に頭を水中に突っ込んだまま浮いている。周りに生きたカルガモ成長10羽。	粕谷和夫	拝島8C
コガモ	2001/2/21	1羽	長沼公園栃本尾根下部の竹藪のそばに、猛禽?の食痕として羽毛が散乱していた	馬場裕・百合亜	八王子9G
スズメ	2001/9/26	1羽	八王子市高月町・高月水田でイネにかけた防鳥網にスズメ1羽がかかり宙ずりで死んでいた。	粕谷和夫	拝島6E

11. 密猟、飼育

オオルリ	2001/7/7	声	飼い鳥、よく囀っている。八王子市・町田街道と国道20号交差点付近(北東側)	粕谷和夫	八王子3H
オオルリ	2001/7/10	声	宝生寺団地内でも時々声が聞こえてきます。我が家から直線にすれば100M以内と思います。	丸山二三夫	拝島1C
ウソ	2001/10/14	1羽	飼い鳥、住宅の鳥籠の中	探鳥会	武蔵府中3K
オオルリ・ホオジロ	2001/7/9	声	春先より天気の良い日は庭の何ヶ所かに分散配置した籠の中でなき交わしをさせてよく囀っている。最低でも4羽を確認。その他にもホウジロ(♂)を飼っている。 恩方上宿バス停付近。	清水盛通	拝島0A

12. その他

イタチ	2001/8/4	2頭	川口川・唐犬橋下流	鈴木章七他	拝島3C
イタチ	2001/9/1	1頭	川口川・宮田橋下流100mあたりの右岸に黒っぽい大型のイタチ、暫く見られた	鈴木章七他	拝島2C
イタチ	2001/10/6	1頭	川口川・大正橋下(人なれしている)	鈴木章七他	拝島4C
イノシシ	2001/6/17	足跡	天合峰・尾根筋でイノシシが山百合の球根を食べるため、それぞれの根元に穴が掘られ、上部が倒れているものが多数発見された	新田茂他	拝島1C0C

イノシシ	2001/7/14	足跡	天合峰・尾根筋と紙屋入りでイノシシが山百合の球根を食べるため、それぞれの根元に穴が掘られ、上部が倒れているものが多数発見された	粕谷和夫他	拝島1B1C0C
イノシシ	2001/8/11	足跡	天合峰・落ち葉のひっくり返し(尾根筋に特に多く、谷戸の沖、松木入り、紙屋入りにも) 板当林道入り口から1450m付近で約50m先方の林道で盛んに餌をあさっている(土を掘り返している)イノシシ数頭を発見。静かに見守りながら、デジカメで写真を撮る。最初のうちは、一生懸命餌を探していたためか、観察者の存在に気がつかず、約1分経過後に気づいて東側の沢を越えて山の中に逃げた。逃げる時に数を数えたら親2頭、子5頭であった。親のうち、1頭は逃げる時にこちらを向いて、声を出し凄みをきかせたので、少し怖かった。子供は親の3分の1~4分の1程度の大きさで、一番小さいのには縦縞模様が認められた。8時27分~約1分間。晴。	粕谷和夫他	拝島1B1C0C
イノシシ	2001/8/14	7頭		粕谷和夫	与瀬9J
カジカガエル	2001/7/7	声	北浅川・河原宿橋下流で声のみ、声が少なくなった。	今井達郎他	拝島1A
ガビチョウ	2001/1/9	1羽	長沼公園で囀り	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/1/23	1+羽	平山城址公園で地鳴き。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ガビチョウ	2001/1/24	1羽	平山城址公園で水浴びをしていた。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ガビチョウ	2001/1/29	1羽	平山城址公園で鳴き声。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ガビチョウ	2001/1/31	5羽	長沼公園で雪の積もった叢を一群が走り回り、鳴く。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ガビチョウ	2001/2/18	2+2羽	長沼公園：霧降の道入り口で鳴き交わして囀る2羽と、殿ヶ谷沢で水浴びをする2羽を観察。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/2/21	1羽	長沼公園：鎌田島山付近で囀る	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/2/22	1羽	平山城址公園で囀り。10月11日、12日も。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ガビチョウ	2001/2/28	3羽	長沼公園・あちこちの谷戸で囀り。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/2/28	6羽	長沼公園・あちこちの谷戸で囀りの練習(?)、および姿を観察。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/3/6	1羽	長沼公園霧降の道で。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/3/13	2羽	八王子市堀の内：寺沢川~氷川神社の雑木林で囀るのを視認。	馬場裕・百合亜	武蔵府中1G
ガビチョウ	2001/3/14	6~7	長沼公園の谷戸沢で。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/3/22	1羽	長沼公園霧降の道周辺で。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/3/30	8+羽	長沼公園の谷戸のあちこちで。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/4/3	2+羽	長沼公園にて。5月15日、9月6日、23日、29日、10月16日、21日、29日、11月20日、12月25日も。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/4/10	5+羽	長沼公園にて。4月17日、27日、8月7日、21日、29日も。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/5/26	2羽	小倉城跡公園二の丸南側	小池一男	八王子7G
ガビチョウ	2001/6/5	12羽	板当林道(入り口から200m1、400m2、600m1、700m1、800m1、1100m2、1200m2、1300m1、1400m1地点)	粕谷和夫	与瀬9K9J
ガビチョウ	2001/6/17	6羽	天合峰(谷戸の沖3、松木入り1、尾根1、紙屋入り1)	新田茂他	拝島1B1C0C
ガビチョウ	2001/7/6	4羽	高尾山・6号路岩屋大師近く2羽、6号路大山橋手前2羽	木村晴美他	八王子1F
ガビチョウ	2001/7/7	2羽	北浅川・陵北大橋上流で1羽(拝島1B)、深沢橋~松竹橋中間(八王子OK)で1羽、声のみ	今井達郎他	拝島1B八王子OK
ガビチョウ	2001/7/7	3羽	小仏川・梅郷橋付近1、蛇滝入り口付近2	粕谷和夫	八王子0G
ガビチョウ	2001/7/7	14羽	高尾山・蛇滝手前林道5、蛇滝付近2、ケーブル頂上駅西側下1、4号路つり橋付近1、4号路いろは道合流付近1、4号路山頂手前1、山頂付近1、1号路第一屈曲点2	粕谷和夫	八王子0G0F1F与瀬9E
ガビチョウ	2001/7/7	4羽	川口川・高尾橋1羽(拝島4C)、駒形橋2羽(拝島3C)、観音橋1羽(拝島2C)	鈴木章七他	拝島4C、3C、2C
ガビチョウ	2001/7/14	20羽	天合峰(谷戸の沖5、松木入り5、尾根9、紙屋入り1)	粕谷和夫他	拝島1B1C0C
ガビチョウ	2001/7/20	12羽	板当林道(入り口から300m2、700m2、1000m3、1200m2、1800m3地点)	粕谷和夫	与瀬9K9J8J
ガビチョウ	2001/7/28	6羽	南高尾・20号線水野橋際南側林内から鳴声(与瀬9E)、大平林道南側斜面低木(与瀬8E)を移動していた	川上憲	与瀬9E、8E
ガビチョウ	2001/8/3	4羽	高尾山・6号路入り口1羽(八王子1F)、6号路琵琶滝1羽(八王子0F)、3号路2羽(八王子0E)	木村晴美他	八王子1F、0F、0E
ガビチョウ	2001/8/4	1羽	北浅川・深沢橋上流右岸で声	今井達郎他	拝島1A
ガビチョウ	2001/8/4	2羽	川口川・大正橋手前右岸	鈴木章七他	拝島4C
ガビチョウ	2001/8/10	2羽	小仏川・駒木野公園付近1、蛇滝入り口手前梅林1	粕谷和夫	八王子0G1G
ガビチョウ	2001/8/10	5羽	高尾山4号路いろは道合流付近1、1号路女坂1、1号路金毘羅台1、1号路下杉並木2)	粕谷和夫	八王子0F1F与瀬9E
ガビチョウ	2001/8/11	11羽	天合峰(谷戸の沖3、松木入り6、尾根2)	粕谷和夫他	拝島1C0C
ガビチョウ	2001/8/14	2羽	板当林道(入り口から900m1、1300m1地点)	粕谷和夫	与瀬9K9J
ガビチョウ	2001/8/18	4羽	南高尾・大平林道北側斜面林内でさえざり	川上憲	与瀬8E
ガビチョウ	2001/9/1	1羽	北浅川・松竹橋上流右岸の林で鳴く	今井達郎他	八王子OK

ガビチョウ	2001/9/7	1羽	高尾山・3号路	木村晴美他	八王子0F
ガビチョウ	2001/9/23	4羽	南高尾・大平林道北側の南面斜面林内でさえずり	川上憲	与瀬8E
ガビチョウ	2001/9/27	6羽	長沼公園霧降の道で、ヒヨドリの鳴き真似。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ガビチョウ	2001/9/30	2羽	多摩川・滝山下、10/27、11/29も同所で4羽、12/24も同所で2羽	佐伯直寛	拝島6D
ガビチョウ	2001/10/5	2羽	高尾山・3号路1、6号路1	木村晴美他	八王子0E0F
ガビチョウ	2001/10/7	3羽	景信山山頂東側の林の中	粕谷和夫	与瀬7H
ガビチョウ	2001/10/8	1羽	北浅川・松竹公園で声を聞く	今井達郎他	八王子0K
ガビチョウ	2001/10/12	2羽	小仏川・梅郷橋付近1、蛇滝入り口付近1	粕谷和夫	八王子0G
ガビチョウ	2001/10/12	12羽	高尾山・蛇滝手前林道1、蛇滝登山道2、4号路いろは道合流付近1、4号路山頂手前1、山頂西江川杉1、薬王院1、1号路中腹5	粕谷和夫	八王子0G0F0E1F与瀬9E
ガビチョウ	2001/10/23	5羽	北浅川 元八市民センターから陵北大橋 声のみ	河村洋子 他	拝島2B3B
ガビチョウ	2001/10/27	4羽	大平林道南斜面林内2羽さえずり無し(与瀬9E)、ごん助裏林内2羽、大きな声でさえずる(八王子0D)	川上憲	与瀬9E、八王子0D
ガビチョウ	2001/10/27	2羽	片倉城跡公園二の丸南側	小池一男	八王子7G
ガビチョウ	2001/11/2	10羽	高尾山3号路サル山の斜面を左右に行ったり来たりしていた・4羽(八王子0F)、他に3号路で3羽(八王子0F)と6号路で3羽(八王子1F)	木村晴美他	八王子0F、1F
ガビチョウ	2001/11/3	7羽	北浅川・陵北大橋下流左岸に2羽(拝島1B)、陵北大橋上流左岸に2羽(拝島1A)、深沢橋と松竹橋の間で声(八王子0K)、元木橋上流右岸で声(拝島1A)、東大沢橋下流100m付近の屈曲点付近で声(八王子0K)	今井達郎他	拝島1A、1B、八王子0K
ガビチョウ	2001/11/3	2羽	小仏川・蛇滝橋付近、2羽が河川敷のミゾソバの実を食べていた	粕谷和夫	八王子0G
ガビチョウ	2001/11/11	1羽	谷地川浄化施設付近グラウンド・グラウンド下流側の藪にいた。当地初認。	神谷古牧	立川1B
ガビチョウ	2001/11/11	3羽	北浅川 元八市民センター付近 声、丸木橋横 姿2羽	河村洋子 他	拝島2B3B
ガビチョウ	2001/12/1	1羽	声、北浅川・松竹公園で声を聞く	今井達郎他	八王子0K
ガビチョウ	2001/12/7	4羽	高尾山・3号路	木村晴美他	八王子0F
ガビチョウ	2001/12/15	声	北浅川 元八市民センター付近	河村洋子 他	拝島3B
ガビチョウ	2001/12/24	4羽	南高尾・大平林道上の作業員休憩小屋東南斜面で目視、声無し	川上憲	与瀬8E
ガビチョウ	2001/12/29	5+羽	長沼公園で、ヤマガラとヒヨドリの鳴き真似をしていた。	馬場裕・百合亜	八王子9G
コウモリ	2001/8/14	1000+	谷地川浄化施設・18:45、推定1000頭以上が空を埋め尽くすように飛ぶ。	神谷古牧、粕谷和夫	立川0C
コウモリ	2001/11/25	1羽	谷地川新旭橋・寒くなっているのに、未だ飛んでいる。板当林道、み(拳丸見える)の成獣1頭、入り口から1750m地点で約20先の林道を東側から西側に横切り、約15m先の倒木に暫く座っていたが、カメラを出している間に山中に去る。	神谷古牧	立川0B
サル	2001/10/15	1頭	6:15頃、狭間町の八王子狭間住宅敷地内の桜と樺の枝の中を囁りながら動いている。この場所で見るのは初めて	粕谷和夫	与瀬8J
ソウシチョウ	2001/10/23	複数	6:15頃、狭間町の八王子狭間住宅敷地内の桜と樺の枝の中を囁りながら動いている。この場所で見るのは初めて	横山由美子	八王子3G
ソウシチョウ	2001/10/26	3羽	16号バイパス西側200mほど入った斜面林の柿の木 この付近では	大川征治	拝島8A
ソウシチョウ	2001/10/26	3羽	ヒヨドリ山 16号バイパスを小宮公園よりに300mほど入った斜面林の柿の木、メジロに混じっていた	大川征治 香	拝島8A
ソウシチョウ	2001/10/29	18羽	平山城址公園内のあちこちを一群で移動。	馬場裕・百合亜	武蔵府中0G
ソウシチョウ	2001/10/31	10羽+	6:00~8:10、八王子狭間住宅敷地内の桜と樺の枝の中を囁りながら動いている。	横山由美子	八王子3G
ソウシチョウ	2001/11/11	1羽	北浅川 松枝住宅グラウンドの柳の木に止まり鳴いていた	河村洋子 他	拝島3B
ソウシチョウ	2001/11/21	3羽	小宮公園隣大善寺墓地東側の林	倉本修	拝島7A
ソウシチョウ	2001/11/29		長沼公園・さえずり。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ソウシチョウ	2001/11/29	1羽	長沼公園・さえずり。11月1日にも2羽。	馬場裕・百合亜	八王子9G
ソウシチョウ	2001/11/29	声	6:10頃、八王子狭間住宅敷地内で複数羽の声	横山由美子	八王子3G
ソウシチョウ	2001/12/1	声	7:00頃、狭間町の八王子狭間住宅、複数羽の声	横山由美子	八王子3G
ソウシチョウ	2001/12/2	10羽	日野市東豊田3丁目・黒川清流公園、崖下雑木林の中。約10羽の群	粕谷和夫	武蔵府中1K
ソウシチョウ	2001/12/6	1羽	自宅庭の松 ビービービビと鳴きながら隣家に移動、姿確認	大川征治 香	八王子8k
ソウシチョウ	2001/12/14	15羽	高尾山4号路、登り方向つり橋を過ぎた所、約5羽が樹間を飛び回	粕谷和夫	八王子0F
ヤマカガシ	2001/9/8	1匹	天合峰 尾根から紙屋入りへ下る道でヤマカガシ1匹	新田茂他	拝島1B

ガビチョウ	2001/11/11	3羽	北浅川 元八市民センター付近	声、丸木橋横 姿2羽	河村洋子 他	拝島2B3B
ガビチョウ	2001/12/1	1羽	声、北浅川・松竹公園で声を聞く		今井達郎他	八王子0K
ガビチョウ	2001/12/7	4羽	高尾山・3号路		木村晴美他	八王子0F
ガビチョウ	2001/12/15	声	北浅川 元八市民センター付近		河村洋子 他	拝島3B
ガビチョウ	2001/12/24	4羽	南高尾・大平林道上の作業員休憩小屋東斜面で目視、声無し		川上恵	与瀬8E
ガビチョウ	2001/12/29	5+羽	長沼公園で、ヤマガラとヒヨドリの鳴き真似をしていた。		馬場裕・百合亜	八王子9G
コウモリ	2001/8/14	1000+	谷地川浄化施設・18:45、推定1000頭以上が空を埋め尽くすように飛ぶ。		神谷古牧、粕谷和夫	立川0C
コウモリ	2001/11/25	1羽	谷地川新旭橋・寒くなっているのに、未だ飛んでいる。		神谷古牧	立川0B
サル	2001/10/15	1頭	板当林道、み(丸見える)の成獣1頭、入り口から1750m地点で約20先の林道を東側から西側に横切り、約15m先の樹木に暫く座っていたが、カメラを出している間に山中に去る。		粕谷和夫	与瀬8J
ソウシチョウ	2001/10/23	複数	6:15頃、狭間町の八王子狭間住宅敷地内の桜と樺の枝の中を囁りながら動いている。この場所で見るのは初めて		横山由美子	八王子3G
ソウシチョウ	2001/10/26	3羽	16号バイパス西側200mほど入った斜面林の柿の木 この付近では	大川征治	拝島8A	
ソウシチョウ	2001/10/26	3羽	ヒヨドリ山 16号バイパスを小宮公園より300mほど入った斜面林の柿の木、メジロに混じていた	大川征治 香	拝島8A	
ソウシチョウ	2001/10/29	18羽	平山城址公園内のあちこちを一群で移動。	馬場裕・百合亜	武蔵府中0G	
ソウシチョウ	2001/10/31	10羽+	6:00~8:10、八王子狭間住宅敷地内の桜と樺の枝の中を囁りながら動いている。	横山由美子	八王子3G	
ソウシチョウ	2001/11/11	1羽	北浅川 松枝住宅グラウンドの柳の木に止まり鳴いていた	河村洋子 他	拝島3B	
ソウシチョウ	2001/11/21	3羽	小宮公園隣大善寺墓地東側の林	倉本修	拝島7A	
ソウシチョウ	2001/11/29	1羽	長沼公園・さえずり。	馬場裕・百合亜	八王子9G	
ソウシチョウ	2001/11/29	1羽	長沼公園・さえずり。11月1日にも2羽。	馬場裕・百合亜	八王子9G	
ソウシチョウ	2001/11/29	声	6:10頃、八王子狭間住宅敷地内で複数羽の声	横山由美子	八王子3G	
ソウシチョウ	2001/12/1	声	7:00頃、狭間町の八王子狭間住宅、複数羽の声	横山由美子	八王子3G	
ソウシチョウ	2001/12/2	10羽	日野市東豊田3丁目・黒川清流公園、崖下雑木林の中。約10羽の群	粕谷和夫	武蔵府中1K	
ソウシチョウ	2001/12/6	1羽	自宅庭の松 ビービービーと鳴きながら隣家に移動、姿確認	大川征治 香	八王子8k	
ソウシチョウ	2001/12/14	15羽	高尾山蛇滝コース登山道のケーブルカー山上駅西側下、約10羽が登山道脇の地上に降りて、ガビチョウのように落ち葉の下の餌を探していた。高尾山4号路、登り方向つり橋を過ぎた所、約5羽が樹間を飛び回	粕谷和夫	八王子0F	
ヤマカガシ	2001/9/8	1匹	天台峰：尾根から紙屋入りへ下る道でヤマカガシ1匹	新田茂他	拝島1B	

2001年ツバメ巣調査・中間報告(1,180巣を発見)

1. 調査参加者数

2001年のツバメ巣調査に参加した人は、延べ416名でした。この内、会員が113名(27%)、一般市民が303名(73%)でした。この調査は、「皆で探そう、ツバメの巣」ということで、一般市民にも調査の参加を呼びかけたところであり、参加数の73%を一般市民が占めたことは、一定の成果があったものと思われます。

2002年は調査方法を会員中心の調査に変更します。ツバメ巣調査を通じてツバメの大家さんとの交流がはかられたりツバメのヒナが育っていく様子が観察できたりして結構楽しいものです。2002年にも多くの会員が調査に参加されますようお願い致します。

2. 外観調査結果

調査地域が広いため、20ブロックに分割し、約半分の奇数ブロックを主体に調査しました。奇数ブロックの結果は1,180巣でした。2002年は偶数ブロックを調査し、全体で2,000巣の発見を目指しましょう。

1,180巣がどのような建物に営巣されたか。店舗247(21%)、事務所71(6%)、車庫86(7%)、作業所50(4%)、住宅643(55%)、その他83(7%)であり、住宅が最も多く、続いて店舗でした。

巣は建物の何階に作られるか、1階が1,001(85%)と最も多く、次いで2階153(13%)で、3階以上は2%しかありませんでした。一建物中に巣は何個作られるか、1個が673(76%)と最も多く、次いで2個が153(17%)、3個以上も7%ありました。

3. 巣立ち迄の状況と継続調査結果

継続調査を実施した巣の数は1,046巣でした。1,046巣のうち、巣立ったものは671(64%)、破壊されたかまたは巣立ち前に放棄したものは283(27%)、不明が92(9%)でした。

巣立った671巣のうち、巣立ち雛数が確認された巣数は316巣で、その内、雛4羽の巣立ちが106(34%)で最も多く、次いで5羽96(30%)、3羽72(23%)の順でした。

破壊されたかまたは巣立ち前に放棄したもの283巣のうち、原因が観察された巣数は75巣で、このうち鴉の破壊が65巣で最も多く、人に破壊されたものも3巣あり、その他蛇や猫によるものも認められました。



ハクセキレイの集団罫（2001年7月～12月）

八王子・日野地区にハクセキレイの集団罫は横山町三角広場、北野町西東京三菱北野ショップ、ホンダクリオ新東京八王子店北側の歩道街路樹の3箇所が知られていたが、今期異変が起こり、新たにJR八王子駅前京王プラザホテル前の1本のイチョウに罫が形成されていることが発見された（発見者は新田茂会員）。この罫は横山町三角広場から一部または時によっては全部移動してきたものと推定される。新しい罫は12月1日の朝日新聞多摩版、12月16日の読売新聞多摩版に掲載された。

(1) 八王子市横山町三角広場・(八王子7J、倉本修調査)

2001年7月25日（晴）	18時52分～19時07分	96羽罫入り
8月26日（曇）	18時25分～18時37分	52羽罫入り
9月26日（曇）	17時43分～17時52分	128羽罫入り
10月24日（曇）	17時05分～17時19分	134羽罫入り
11月25日（晴）	16時30分～	罫入り0羽（無し）
12月28日（晴）	16時35分～17時03分	47羽罫入り

11月はゼロだったが、12月28日の観察で一部の個体群が三角広場を利用していることがわかった。しかし、豆電球を最も多く張り巡らしているクスノキには1羽も入らなかった。比較的電球の少ないヤマモモに分散して入っていた。

(2) JR八王子駅前京王プラザホテル前・(八王子7J、粕谷和夫調査)

- 10月19日（晴）17時00分～17時17分 120羽罫入り
- 11月18日 780羽に増えていた。イチョウは黄葉が始まりだしたところで落葉した後はどうなるか？ 近くの横山町三角広場の昔からのねぐらに行ってみると、ヤマモモにもクスノキにもハクセキレイは1羽もいなかった。
- 11月27日に調査したら1100羽に増えていた。イチョウは黄葉していて、落葉寸前、16時30分頃から京王ホテルやそごうデパートの屋上に集まり出し、16時35分から罫木のイチョウに入り出し、16時51分には1100羽全ての罫入りが終了した。近くの横山町三角広場の昔からのねぐらに行ってみると、ヤマモモもクスノキもよく刈り込まれていて下から透け透けに見える状態で、年末のイルミネーションが施してあり、ハクセキレイは1羽もいなかった。
- 12月9日、イチョウは葉を落して、ほんのわずかの残葉が着いている程度、16時40分から罫木のイチョウに入りだし、17時00分には約1000羽の罫入りが終了。全数がイチョウに入らず、約40羽がホテルの壁についている「京王プラザホテル」の文字盤にも止まっていた。葉の無いイチョウの枝にハクセキレイが鈴なりになった。
- 12月16日は1030羽が罫入りした。

(3) 八王子市北野町西東京三菱北野ショップ・(八王子8J、粕谷和夫調査)
12月2日、3本のクスノキのうちの1本に17羽が罅入りした。

(4) ホンダクリオ新八王子店の北側歩道街路樹・(八王子3G、横山由美子調査)
7月に入るとセキレイは急に数を増やし、最高115を数えましたが8月末には減少、10月からは罅入りを確認できた日はありませんでした。

12月、罅のエンジュは枝を切り落とされ、幹だけ状態です。また、ホンダクリオ店敷地内の桂の木も落葉し、罅とはなっていません。

7月中はハクセキレイとセグロセキレイの両方の声が聞こえていましたが、8月に入るとセグロセキレイの声しか聞き取ることが出来ない日が多くありました。日暮れ時の観察なので姿による確認が難しいのですが、この罅は早春にハクセキレイが利用し、ここにセグロセキレイが加わって数を増やすとハクセキレイは来なくなり、やがて秋にはセグロセキレイも何処かへ行ってしまおうという性質の罅のように見えます。

2001年7月1日	19:25	19	ハクセキ、セグロセキ両方の声。
7月24日	18:45~19:10	115	〃
8月22日	18:28~18:55	55	セグロセキの声がほとんど
8月28日	18:10~18:35	18	〃、囁らない。
9月12日	18:00~18:12	3	種不明
10月			日暮れ時の観察はしていない。 樹下にフン跡殆どなし。
11月5日	16:45~17:15	0	樹下にフン跡殆どなし。
12月1日	朝		エンジュの全枝切り除かれている。
12月22日	17:30	0	〃

セグロセキレイの集団罅(2001年7月~12月)

八王子市川町の桑畑にあったセグロセキレイの集団罅は同桑畑が宅地化され、隣の式分方町の式分方小学校付近の桑畑に移った。

11月4日、関根、今井、新田、粕谷がここを調査した。式分方小付近の周辺の住宅地屋根に就罅前集合、16時50分~17時00分間に約170羽のセグロセキレイが落葉前の桑畑に入った。ハクセキレイ2羽混ざり、キセキレイ3羽も就罅前の住宅屋根で認められたが、ねぐら入りしたかどうかは確認できなかった。

12月3日、関根が落葉後の桑畑を調査した。11月4日に確認した場所を中心に周辺を調査したが、罅は発見できなかった。しかし、30羽位のセグロセキレイの群が2回西側方向(城山中学校)に向かって上空を通過した。桑の葉が落ちた後は、どこに罅が形成されるか謎である。

ヒメアマツバメの動向 (2001年7月~12月)

1. 京王線高尾駅西側ホーム高架下・八王子2G (川上恚調査担当)
8月20日・夕 使用中と思われる巣1個確認、1羽帰巣確認 (17:45~18:25)
11月22日・夕 使用中と思われる巣1個確認、帰巣無し
1999年8月に2羽を確認した後、帰巣が確認できない状態が続いていたが、2000年8月に久し振りに、1羽の帰巣確認。しかし同年11月は帰巣確認できなかった。
2. 八王子学園八王子高校体育館・高床の下 八王子5J (川上恚調査担当)
8月16日・夕 使用中と思われる巣47個確認、90~100羽帰巣確認 (17:15~18:20)
11月19日・夕 使用中と思われる巣45個確認、約90羽帰巣確認 (16:15~17:00)
8月の観察時(17:15)、10数羽が頻繁に巣に出入りしており、育雛中と思われるが見えない。17:30頃から本隊が上空に現れ、旋回後18:00頃から次々と入巣。11月、体育館下はコンクリート面で学生がテニスを盛んにやっているも、球の間を抜けて次々に帰巣。
3. 京王線高尾山口駅東側高架下 八王子1F (川上恚調査担当)
95年に発見された所
8月24日・夕 使用中と思われる巣1~2個確認、1羽帰巣確認 (17:45~18:40)
11月26日・夕 使用中と思われる巣1個確認、2羽帰巣確認 (16:20~17:00)
8月23日は1羽も確認できなかったが、翌24日は1羽確認できた。11月26日、16:45頃6羽が上空高く旋回しているのを発見、暫く旋回していたが、16:50頃2羽を残し、他4羽は見えなくなった。16:50~51に2羽が帰巣した。
4. 東浅川小学校校舎 (屋根裏) 5. 浅川・中央高速道橋下・・・未調査
6. JR八王子駅のイワツバメコロニーの中に新たにヒメアマツバメの巣が1個見つかった (平井国二発見)
7. 南大沢駅・武蔵府中0D (木村信幸調査担当)
12月15日 朝 (6:20~7:40)、夕 (15:30~17:00) の2回調査
14の巣があるが、全て放棄したと思われる (飛び出しも、帰巣もなし)。コロニーの直ぐ近くに大型商業ビルが建設され、2001年12月にオープンした。今回、出巣、帰巣とも認められなかったのはこの影響が大きいものと考えられる。

2001年浅川流域イワツバメ営巣調査

(取りまとめ：粕谷和夫)

この調査は1987年から毎年行っているもので2001年は15年目となった。調査方法は前年までと同じで、5月から7月の間に2回以上、その年に繁殖に利用している巣の数をカウントした。浅川流域を川筋別に16に分割し、その他に谷地川、程久保川及び大栗川を加えて行った。調査区域と調査者は次表、結果は第1図の通りであり、前年よりやや減少した。

調査者の新田茂会員から次のようなコメントを頂いた。

谷地川八幡宿橋・・・5月5日の観察では前年の3個に加え新たに2個が作られ5個が確認でき、5月28日にはさらに1個が増え6個となり今年の繁殖を期待していました。6月15日、この場所を通った折、いつも橋の下や上空を飛び交っているのが見られるのに当日は全く見られず、採餌のため他の場所へ行っているのかと思う一方、それにしても1羽も見られないことに不安を感じ、6月19日、橋の下に行ったところ、あたりに飛ぶ姿もなく、1個は破壊されていましたが、他の5個は全く異常は認められませんでした。この場所を放棄してしまったものと思われました。破壊された1個はカラスによるものなのか、また人によるものであれば1個だけとは考えられませんので、原因はわかりません。当日橋の真下の岸辺に大きなアオダイショウ1匹がいたのが気になりましたが、産卵を始めたと思われるこの時期、この場所での繁殖を放棄させるような脅威を親鳥に与えた原因は何だったのかその後も付近を飛ぶ姿は見られません。

カレツツア駐車場・・・5月5日の観察では前年の巣6個は跡形もなく削り取る様に取り除かれていました。新しく造巣する気配も全くありませんでした。駐車場のため知らないで巣の下に駐車してしまった車の糞による汚れがひどく、昨年調査の折、早晚取り壊されることが予想されていました。昨年はインター入り口に近い富士工業の外階段に渡来当初は営巣を始めたようでしたが、踊り場に入入り口があり、恐らく糞を嫌われて追い立てられた場所で営巣したもので、今年は又富士工業外階段に出入りする姿も見られましたが調査する間もなく見かけなくなっていました。その後の移動先はわかりません。

案内川高尾橋詰め橋本屋で新たに発見された巣は、蛍光灯笠上のお椀型のツバメの古巣の上に巣材を継ぎ足してイワツバメ型巣に改良して営巣もので、5月上旬から継続観察した。

- 5/19 お椀型の昨年のツバメの巣にイワツバメ親が1羽入っている (粕谷)
- 6/2 イワツバメの巣完成、お椀型の巣の上に巣材を継ぎ足し天井までつなげ入り口が付いている (粕谷)
- 6/22 イワツバメ巣立った模様、巣の入り口付近にも真下の床にも糞あり、空き巣になっているが巣は壊れていない (粕谷)
- 6/27 イワツバメの巣にイワツバメ親1羽が来ていた。2番子の模様 (粕谷)
- 7/1 巢中に雛有り、羽数不明 (粕谷、平沢)
- 7/7 巣立ち直前と思われるヒナが2羽巣穴から顔を出す。親、餌運び中 (粕谷)
- 7/17 2番子が巣立った模様 (粕谷)。

(図1) 浅川・谷地川・大栗川のイワツバメ営巣数及び営巣ヶ所数



(第1表) 2001年イワツバメ営巣調査地域と調査者

	調査地域	調査者
①	北浅川 (大沢橋～陵北大橋)	今井達郎、関根伸一、清水盛通、柚木鎮夫、白川司、丸山二三夫
②	北浅川 (陵北大橋～松枝橋)	河村道寛・洋子
③	浅川本流 (松枝橋～鶴巻橋)	山浦秀雄
④	浅川本流 (鶴巻橋～大和田橋)	倉本修
⑤	浅川本流 (大和田橋～長沼橋)	新村哲也
⑥	浅川本流 (長沼橋～一番橋)	山崎悠一・久美子
⑦	浅川本流 (一番橋～多摩川合流)	門口一雄、青木繁昌
⑧	川口川 (川口橋～明治橋)	鈴木昌七、川戸恵一、井手龍世、杉森熊二・ユリ、石井昇・よし子
⑨	川口川 (明治橋～浅川合流)	小沢礼子
⑩	南浅川 (案内橋～敷島橋)	川上憲、横山由美子
⑪	南浅川 (敷島橋～浅川合流)	小池一男
⑪	南浅川・八王子総合福祉センター	川上憲
⑪	南浅川・南多摩病院他	平井国二
⑫	城山川 (月夜峯新橋～浅川合流)	木村晴美、千葉慎子
⑬	山田川 (山田橋～浅川合流)	平井国二
⑬	山田川・市民会館	粕谷和夫
⑭	湯殿川 (白旗橋上流部)	横山由美子
⑮	湯殿川 (白旗橋～時田橋)	三宮恒男
⑯	湯殿川 (時田橋～浅川合流)	加藤岸男
⑰	程久保川	青木繁昌
⑱	谷地川 (月夜橋～新左入橋)	新田茂、井手龍世
⑱	谷地川 (新左入橋～多摩川合流)	大川征治・香
⑳	大栗川	木村信幸

2001年、秋のサシバ渡り調査結果

取りまとめ：粕谷和夫

2001年は10カ所（第1図）で、9月13日から10月12日まで調査した。通過するサシバ、ハチクマ等の渡り鳥及び渡りをする蝶・アサギマダラのカウント調査を実施した。調査には延べ167名の会員が参加した。

1. サシバ、ハチクマの渡り

第1表の通りで本年は過去最高を記録した。最高を記録した理由は、調査参加者のサシバの観察力の向上、サシバが多く通過した日が土日に当たったこと等が考えられ、本年が前年までより特に多かったとは断定できないのではないかとと思われる。場所別では本年から新たに調査地とした大博採石場最上部が最も多かった。ここは、昨年まで、最も多く観察された遠矢堀公園近くである。

（第1表）2001年サシバ、ハチクマの日別通過羽数

月日	天気	最高気温	サシバ										ハチクマ							計						
			小峰BC	大博採石場最上部	松竹公園	遠矢堀公園	恩方マス釣り場	陣馬山山頂	高尾山露台	景信山山頂	小仏城山山頂	城山湖	日別最大値 Xn	計 Xm	小峰BC	大博採石場最上部	松竹公園	遠矢堀公園	恩方マス釣り場		陣馬山山頂	高尾山露台	景信山山頂	小仏城山山頂	城山湖	日別最大値
9月13日	雨	24				0						0	0				0						0	0		
15日	曇	30		0		3		15				15	18	4	0		1						4	5		
16日	晴	31.1		9				6				9	15	0		0							0	0		
18日	晴	30.4				0						0	0			0							0	0		
22日	晴	18.7			0	2		3				3	5		0	0	0						0	0		
23日	快晴	21.2		28	0	5	68	134		9		134	244	0	0	3	0	0		0		3	3			
24日	快晴	25.5			0	14		4	0	0	5	14	23		0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
25日	快晴	26.8			0	1					3	3	4		0	0					1	1	1			
26日	晴	26.5			2	1	0				1	2	4		1	1	0				0	1	2			
27日	晴	26.6			0	3		1	3		0	3	7		0	0	0	0			0	0	0			
28日	晴	24.9				1	0					1	1			0	0						0	0		
29日	晴	21.2	92	555	12	514		300	65	0	215	555	1753	0	3	0	1	0	0	0	0	1	3	5		
30日	雨	18				3		10		0		10	13			0	0				0	0	0	0		
10月1日	雨	18										0	0										0	0		
2日	晴	28.2	3		0	6	0		13		13	13	35	0	0	1	0	0			0	1	1			
3日	晴	28		4	0	5	0	15	12		0	27	63	0	0	0	0	1	0		0	0	1	1		
4日	曇	21.8				43						43	43			1						1	1			
5日	曇	20.7				0						0	0			0							0	0		
6日	晴	25.7		13		3	0	4	20		4	20	44	0	1	0	0	0			1	1	2			
7日	曇	20.6		41				0	2			41	43	0			0	0					0	0		
8日	雨	17.7		4						0	0	4	4	0					0		0	0	0	0		
11日	曇	26							4			4	4						1				1	1		
12日	曇	24.8							1			1	1						0					0	0	
計Σ			95	654	14	604	68	492	118	2	9	268	902	2324	0	7	1	8	0	2	1	0	0	3	17	20

天気及び最高気温は八王子市天気相談所発行

「八王子市気象月報」から引用

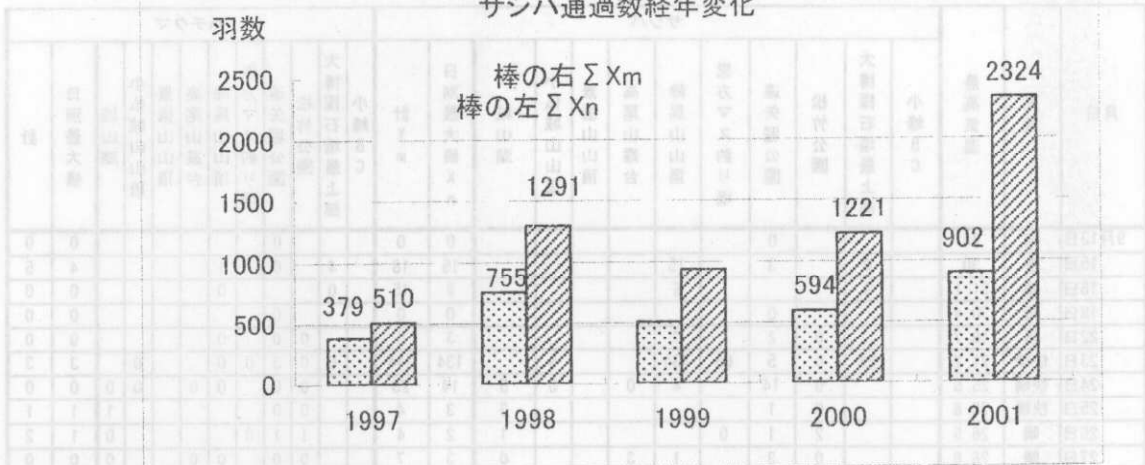
2. 経年変化

サシバの経年変化は第2表の及び下図通りである。羽数に幅があるのは複数ヶ所でカウントしたものの内、最も多かった所の羽数をXn、複数ヶ所の計をXmとし、合計をΣ(Xn~Xm)としたことによる。

(第2表) 八王子上空を通過するサシバ総数の経年変化

	最低 (ΣX_n)	最高 (ΣX_m)	多く通過した日	調査期間	主調査ヶ所数	調査者延べ数	備考
1993	・	100羽	9/26,	9/26,	4ヶ所	24名	特定日調査
1994	・	90羽	10/2,	9/17~10/10	3ヶ所	58名	特定日調査
1995	・	20羽	特に無し	9/21~10/7	1ヶ所	32名	特定日調査
1996	・	318羽	9/28,	9/15~10/16	4ヶ所	117名	連続日調査
1997	379羽	510羽	9/20・9/24	9/17~10/19	5ヶ所	154名	連続日調査
1998	755羽	1291羽	9/27・10/3	9/19~10/12	6ヶ所	174名	連続日調査
1999	509羽	937羽	9/26, 27・10/3, 4, 9	9/18~10/12	5ヶ所	204名	連続日調査
2000	594羽	1221羽	9/27, 30・10/5, 6, 10	9/15~10/14	9ヶ所	177名	連続日調査
2001	902羽	2324羽	9/23・9/29	9/13~10/12	10ヶ所	167名	連続日調査

サシバ通過数経年変化



3. 他の野鳥やサギマダラの出現羽数

ミサゴは大博採石場最上部で3羽が観察され、いずれも渡りのものと思われる。チゴハヤブサは6回で観察され、いずれも渡りのものと思われる。

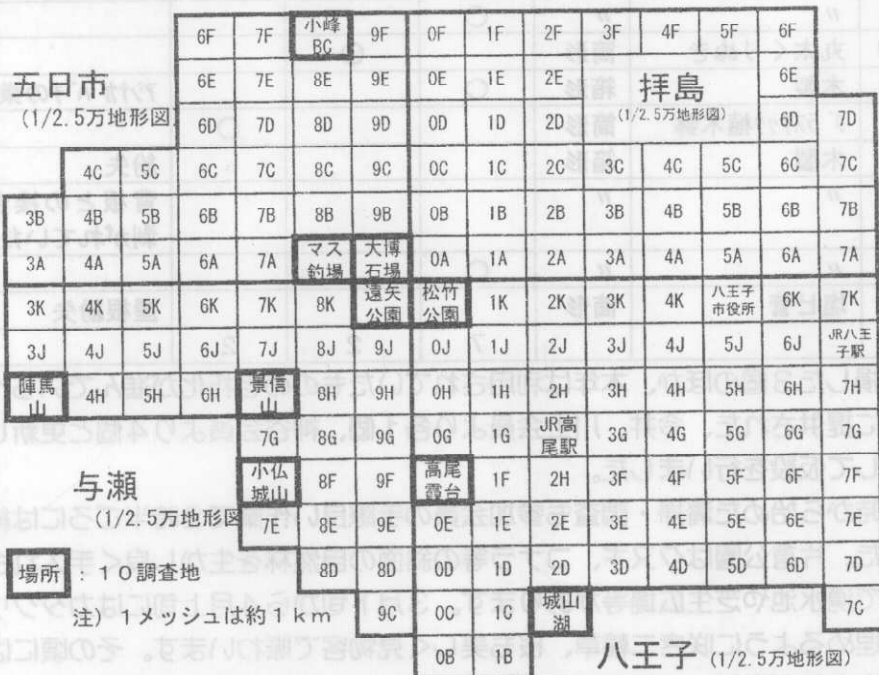
本年も渡りの途中と思われるアマツバメ類、ツバメ類が同時に観察された。ただし、ヒメアマツバメは八王子市内で越冬する個体もあるので、全てが渡りのものと断定できない。アマツバメが高尾山露台で多いのは、10/3の8時から8時42の間に蚊柱の如くの状態では400は以上が通過したものである。

ヒタキ類ではエソヒタキが12羽記録された。渡りのものと思われるアサギマダラは54頭記録された。(本報告は要約であり、具体的なデータを希望される方は取りまとめ責任の粕谷和夫に照会下さい)

(第3表) サシバ、ハチクマ以外の野鳥等出現羽数又は回数 (2001.9/13~10/12)

注) 単位は基本的には羽数であるが、地着きの野鳥については出現回数も含まれ、両者が混在している。出現回数には同一個体の複数出現回数が含まれている。		小峰BC	大博採石場最上部	松竹公園	遠矢堀公園	恩方マス釣り場	陣馬山山頂	高尾山霞台	景信山山頂	小仏城山山頂	城山湖	計
地着き又は通過のワシタカ	118 ミソコ	0	2	0	0	0	0	0	0	1	3	
	120 トビ	2	5	34	34	13	23	27	0	10	75	223
	123 オオカ	1	2	6	16	5	5	4	0	0	6	45
	125 ツミ	0	0	1	8	2	22	1	0	0	2	36
	126 ハイタカ	0	2	0	5	0	4	1	0	0	8	20
	129 ノスリ	1	3	10	22	6	21	12	0	4	17	96
	131 クマタカ	0	0	0	1	4	11	0	0	0	0	16
	141 ハヤブサ	0	2	0	3	0	2	1	0	0	3	11
	142 チョウハヤブサ	0	0	0	1	0	1	2	0	1	1	6
	145 チョウゲンソウ	0	3	1	0	0	0	0	0	0	0	4
通過のアマツバメ、ツバメ類 (ヒメアマツバメは地着き含む)	318 ハリオアマツバメ	0	0	0	0	0	10	0	0	20	0	30
	319 ヒメアマツバメ	0	0	0	3	0	29	0	0	6	2	40
	320 アマツバメ	1	1	0	1	0	50	438	1	4	21	517
	346 ショウトウツバメ	0	0	0	0	0	12	0	0	5	0	17
	347 ツバメ	14	0	0	39	52	58	0	0	2	28	193
	349 コシアカツバメ	0	0	0	0	0	5	0	0	2	0	7
	350 イワツバメ	5	91	23	336	124	58	24	0	12	17	690
通過のその他の野鳥、蝶	367 ヒヨドリ	30	125	351	2087	120	0	433	20	124	460	3750
	431 サメビタキ	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1
	432 イゾビタキ	0	0	0	1	0	3	5	0	3	0	12
	433 コサビタキ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	アサギマダラ	0	13	0	4	2	11	14	1	6	3	54

(第1図) タカ等渡り調査地の位置図 (1/2.5万地形図10等分メッシュ図)



- 1 小峰BC: 五日市8F
- 2 大博採石場最上部 (大博石場): 五日市9
- 3 松竹公園: 八王子0K
- 4 遠矢堀公園 (遠矢公園): 与瀬9K
- 5 恩方マス釣り場 (マス釣り場): 五日市8A
- 6 陣馬山山頂 (陣馬山): 与瀬3H
- 7 高尾山霞台 (高尾霞弟: 八王子0F
- 8 景信山山頂 (景信山): 与瀬7H
- 9 小仏城山山頂 (小仏城山): 与瀬7F
- 10 城山湖: 八王子2C

2001年片倉城跡公園巣箱調査

新田 茂

2001年12月9日、巣箱の清掃と利用状況調査を会員有志によって行いました。前年架設した16個の中、2個紛失、3個は破損して利用されず残っていた11個の中、四十雀が繁殖に利用したもの7個、ねぐらとして利用中と思われるものの2個でプラスチック植木鉢の巣箱は利用されませんでした。

また、木製巣箱の1個にアシナガバチ、1個にはスズメバチと思われる直径12cm前後の造巣途中で中止したと思われるものが天井部に造られているのを観察しました。

利用状況

No	形式（四十雀用）		四十雀 利用	ねぐらと して利用	不利用	備考
1	プラスチック植木鉢	筒形			○	
2	木製	箱形	○			
3	"	"		○		
4	杉皮	筒形				腐食落下
5	木製	箱形	○			
6	"	"	○			スズメバチの巣
7	"	"				紛失
8	"	"	○			
9	"	"	○			
10	丸太くりぬき	筒形		○		
11	木製	箱形	○			アシナガバチの巣
12	プラスチック植木鉢	筒形			○	
13	木製	箱形				紛失
14	"	"				背板との接合部が剥がれていた
15	"	"	○			
16	塩ビ管	筒形				屋根紛失
計			7	2	2	

破損した3個のほか、本年は利用されていたものの老朽化が進んでいる1個を新たに提供された、今井、川上会員より各1個、神谷会員より4個と更新し16個として仮設を行いました。

1時から始めた清掃・調査も参加会員の手際良い作業で2時半ごろには終了しました。片倉公園はクヌギ、コナラ等の斜面の自然林を生かし良く手入れされた公園で湧水池や芝生広場等があります。3月下旬から4月上旬にはカタクリが斜面を埋めるように咲き二輪草、桜も美しく見物客で賑わいます。その頃には、シジュウカラが巣材のコケを啜って巣箱へ出入りするのが見られます。

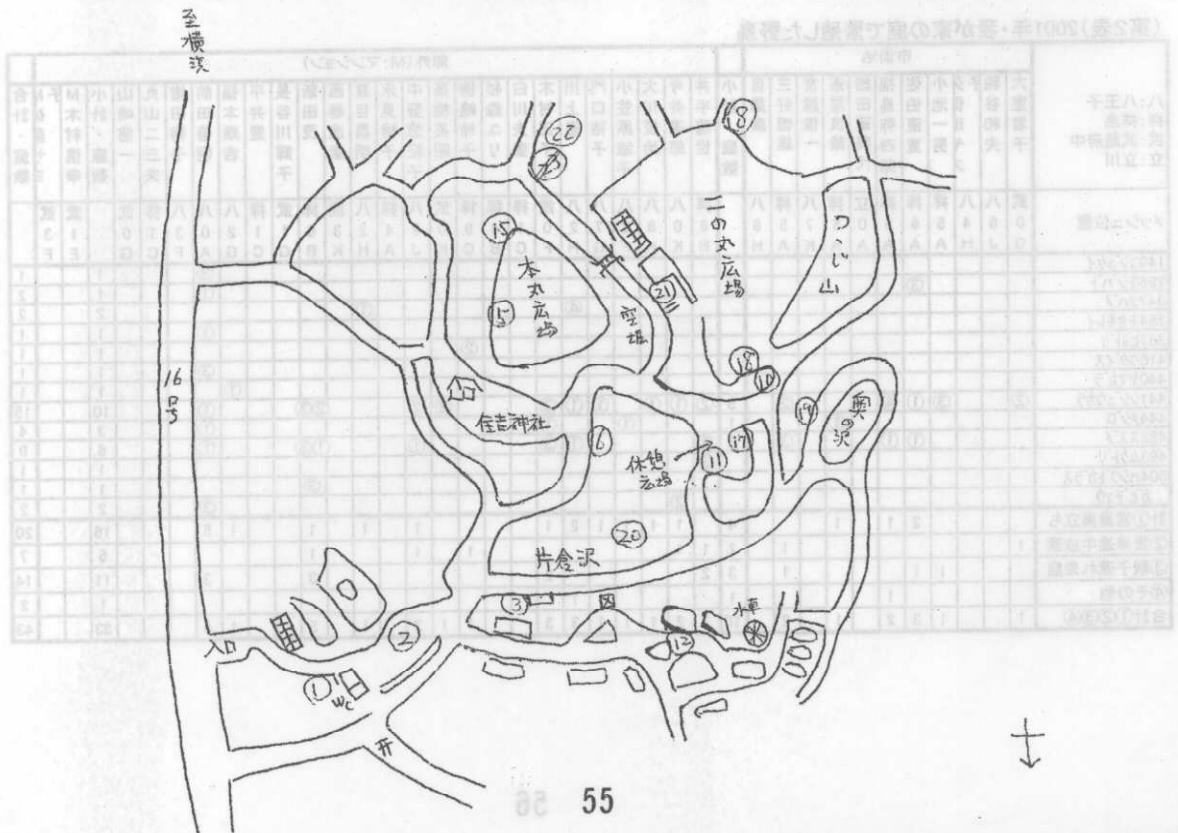
巣箱には全て番号が記入されていますので散策の折気付かれた事がありましたらお知らせ下さい。

今回の調査には、次の会員の協力を頂きました。

今井達郎・井形定子・粕谷和夫・川上恚・神谷古牧・鈴木章七・伊藤薫・門口一雄・平井芳子・新田茂 (0426-91-3548)

仮設状況

No	形式 (四十雀用)	樹木名	地上高 (m)	出入口方向	提供者	
1	プラスチック植木鉢	筒形	シカ	2.5	西	神谷古牧
2	木製	箱形	クサ	2.5	東北東	川上恚
3	"	"	(不明)	2.0	南	神谷古牧
5	"	"	クサ	3.8	南西	川上恚・千葉真禰子
6	"	箱形	(不明)	2.5	東	神谷古牧
8	"	"	イシ	2.4	北	新田茂
10	丸太くりぬき	筒形	イシ	1.8	西	栗原勝
11	木製	箱型	コナ	2.4	北北東	神谷古牧
12	プラスチック植木鉢	筒形	エンジュ	2.7	東	神谷古牧
15	木製	箱形	クサ	2.2	西	川上恚
17	塩ビ管	筒形	クサ	2.9	北	今井達郎
18	木製	筒形	コナ	3.0	南	川上恚
19	"	"	クサ	2.2	南西	神谷古牧
20	"	"	クミ	1.9	北北西	神谷古牧
21	"	"	サウ	3.8	南	神谷古牧
22	"	"	クサ	2.3	北北東	神谷古牧



2001年、我が家の庭に来る野鳥調査結果

(取りまとめ:丸山二三夫)

2001年は市街地 11 庭 (マンションなし)、郊外 25 庭 (庭 23、マンション 2) 計 36 庭がこの調査に参加した。

結果は第1表の通り、1年間のうち、最低1回でも庭に来た鳥 (以下●で示す) 及び付近に来た鳥 (以下○で示す・例えば隣近所に来た鳥、自分の家で声を聞いた鳥など) は合計 48 種であった (このうちコヨシキリに●があるのは、通過と思われる個体が庭の植木に一時止まったものである)。

庭での繁殖状況は第2表のとおりであり、13種の野鳥が記録され、昨年 of 8種から大幅に増えた。新しく増えた鳥は、コジュケイ、キセキレイ、ウグイス、ヤマガラ、ハシブトガラス、ガビチョウの6種で、前年記録されたオナガは本年確認されなかった。

この他に長野県穂高支部の大関豊会員から報告があったが、八王子・日野地区でないため、参考して以下のような特徴点を掲載する。実際に自宅の庭に来る鳥の種類は東京地区とあまり変わらないが、ウソが自宅の庭に来ている。また、付近に来た鳥として、サンショウクイ、ヨタカ、ハイタカ、ノスリなどが報告されている。

(第2表) 2001年・我が家の庭で繁殖した野鳥

八:八王子 押:押鳥 武:武蔵府中 立:立川	市街地										郊外(M:マンション)										合計・ 座数																				
	大室 子	粕谷 和夫	小池 一男	佐伯 直寛	福島 弥四郎	遠尾 良雄	宮越 俊一	三好 恒雄	目黒 廣	小計・ 座数	井手 龍世	今井 達郎	大川 征治	小笠 原敏子	門口 裕子	川上 恵	木村 正子	白川 夫妻	杉森 ユリ	佛嶋 玲子		高橋 英昭	中野 悠紀子	永見 博子	夏目 昌明	西巻 虎彦	新田 茂	長谷 川輝子	平井 豊	福本 順吉	前田 善明	増田 裕子	丸山 二三夫	山崎 悠一	小計・ 座数	M 木村 信幸	F 依藤 サミ				
メッシュ位置	武 0 G	八 6 J	八 4 H	押 5 A	押 6 A	立 0 A	押 6 A	八 7 K	押 5 A	八 6 H	押 6 B	八 0 K	八 8 K	八 8 F	八 7 G	八 2 H	武 0 F	押 1 C	押 4 B	押 9 C	武 0 J	八 9 A	八 4 H	八 2 K	武 3 B	押 6 G	武 1 C	押 1 G	八 2 A	八 0 A	八 3 F	押 1 C	武 0 G	武 1 E	武 3 F						
149コジュケイ																																									
296キシバト				③						1																														1	
347ツバメ																																									2
354キセキレイ																																									2
367ヒヨドリ																																									1
410ウグイス																																									1
440ヤマガラ																																									1
441シジュウカラ	②			③	①	④				②																															1
444シロ																																									10
488スズメ																																									3
493ムクドリ																																									6
504ハシブトガラス																																									1
ガビチョウ																																									1
計①営業業立ち				2	1		1				4	1	1	1	1	2	1					1	1	1	1	1	1	5											16		
②営業途中放棄	1										1	2	1	1							1	1			1															5	
③親子連れ来庭				1	1						3	2					2				1				3															11	
④その他											1																													1	
合計①②③④	1			1	3	2		1		2	10	3	2	1	1	1	3	3			1	1	2		1	5		1	8									33			

2001年 1年間に見た野鳥の種類数

20名の会員から報告がありました。内1名は氏名欄が空欄となっていたので氏名不詳です。200種以上見たという人が6名（前年も6名）いました。感動したこと、その他特記事項欄には以下のようなことが記載されていました。

井手龍世：今年は谷津干潟など不参加のため、水鳥の見た数が減りました。カルガモの子連れを道路上で見た事はなかなか忘れられません。今年見た鳥のNo.1です。

今井達郎：6月の奥日光で10種、9月の三番瀬・谷津干潟で22種、11月の沖縄で27種と生涯で見た鳥の種類数が増えた。

大関豊：最後の最後（12月31日）に豊科町の老ダム湖でピロードキンクロ（♀タイプ）を見ました。

大室君子：大菩薩峠でコガラの求愛給餌を見ました。♀が高い声で大騒ぎしていました。シジュウカラもみかんやりんごをつつくのですね。

粕谷和夫：沖縄喜如嘉小での小学生から受けた野鳥観察指導とその夜のPTA役員はじめ地元の方との交流。

久保田ヤス子：高尾山で花（アリ）の大きな群、雪の高尾実験林で真鶺（マヒワ）。

倉本修：BEST3 ①アイスランドカモメ（1月14日、銚子港で）、②ヤンバルクイナ（10月8日、沖縄国頭村）、③ベニヒワ（10月27日、粟島）。

佐伯直寛：立木に止まるヤンバルクイナが電光に映し出された姿を見た瞬間、幻想的ですごく感動いたしました（沖縄）。

佐藤サヨ子：①初めて見る鳥はいつも感動しますが、今年は2年間も歩いている大栗川でこの4月に始めてカワセミを見つけた時。②やはり大栗川のほとりの民家の庭の木にアオサギを見つけた時。9月始めの頃でした。③大栗川の裏にある支流、名前がないので私は勝手にドブ川と呼んでますが、大栗川の半分しかない狭い川です。両側に木が生い茂り、水の中にも緑があり、コサギやカモ、キセキレイがいて、時々カワセミの姿も目にします。10月にゴイサギの幼鳥

らしき鳥を見つけたのですが、今井さんに聞いてみたら喉から胸を見るように
 言われチャンスを待っていたら、11月25日川渚の柵に白い鳥を見つけ、白
 といっても薄い淡いオレンジ色か茶色を掛けたような色で、嘴も薄いオレンジ
 色で、肢は黒でした。それでよく見ると、水の中にゴイサギの成鳥がいて柵
 の外にはこの前見た茶色のがいました。鳥の図鑑を見るとやはり茶色はゴイサ
 ギの幼鳥で、白のはアマサギでした。④真向かいにある大塚公園で6月に2
 羽のコジュケイを見たのですが、10月に入って買い物の帰り大塚公園を通っ
 たら、何時もキジバトに出会う原生林として残してある部分の囲いの外に4羽
 のコジュケイがいたのにびっくりしました。

傍島玲子：2月2日、高尾山探鳥でのアトリの大群にびっくりした。吹き出るよ
 うに限りない情景は今でも思い出さずにはいられない。

西巻虎彦：自宅西側は浅川に南側は日野市の向島緑地帯及び水路に面しているた
 め、水辺の鳥、野山の鳥ともに観察できる。

細田富美代：①伊良湖岬で見たヒヨドリの渡り。雲が湧き出るように次から次へ
 帯のように現れる。その数の多さに驚き圧倒され、強い風の中、海に向かって
 何回も何回も果敢に挑戦し、やがて波間に消えてゆく姿に涙がでた。しかし家
 に帰りわがもの顔でふるまうヒヨドリを見るとやはり嫌いである。②三頭山で
 見たコマドリ。コマドリが山菜の路に現れたと聞き、急いで行くと待っていて
 くれた。尻を立てたり鳴いたりはしてくれなかったが、朽ちた丸太の上でしば
 らく遊んでくれた。その愛らしい姿に見惚れた。それから2回程訪ねたが留守
 だった。③沖縄のアカヒゲ。ヤンバルクイナ、ノグチゲラを見ることができた。
 あとアカヒゲ、参加者の方はたいい見たというのに、諦めて1人車の方に戻
 る途中鳴声が聞こえた。足が震えた。オス、メス2羽。いつも居場所を教えて
 いただくばかりの私が、人に教えることができた。自分で探すことが出来たな
 んて、胸がときめき興奮した。もちろん光の中で見るかわいい仕草と美しい色
 にも。これからの探鳥会を楽しみにしております。アカショウビン、アカコ
 ッコ、あこがれのヤマセミの姿を求めて。

533 (115)	252	134	180	101	134	88	山内 三夫
21 (8)							黒目 剛
209 (77)	253	213	218	208	258	197	山内 一雄
203	258	200	198	188	202	192	木村 千青
28							杉本 純

（ ）内は回数

丸山二三夫：11月23～25日、沖縄探鳥行。下重、市田、日置、久高、ヤンバル支部、喜如嘉小の児童・先生・PTA等々大変大勢の方々のお世話になり、絶滅危惧種とされるヤンバルクイナ、ノグチゲラなどの他、沖縄特有のアカヒゲ、リュウキュウヨシゴイ、アマミヤマシギ、ヒクイナ、アミハラ、ギンムクドリなどが見られたこと（名前については敬称を略させていただきました）

目黒廣：探鳥会で恩方方面に行った時、カワセミを見た時感動しました。

山崎悠一：沖縄山原。

1年間に見た日本の野鳥の種類数（羽）

氏名 / 年	1995	1996	1997	1998	1999	2000	2001
井手龍世	102	97	94	96	98	101	92 (31)
今井達郎	144	203	183	166	158	174	175 (38)
大川征治	118	166	173	181	204	244	240
大関豊	171	165	195	169		132	137 (106)
大室君子				50			70 (10)
粕谷和夫	169	181	203	178	215	170	177 (99)
木村信幸				105	123	99	131 (15)
久保田ヤス子							(13)
倉本 修				229	271	248	214
佐伯 直寛				156	228	186	205 (32)
佐藤 サヨ子							122 (151)
傍島 玲子							91 (24)
西巻 虎彦							60 (7)
新田 茂			141	156		138	119 (61)
細田 富美代						75	140 (32)
丸山 二三夫	88	134	167	160	134	225	233 (112)
目黒 廣							15 (8)
山崎 悠一	197	228	208	218	213	223	209 (77)
柚木 育子	195	205	186	196	200	228	203
名称 不詳							28

() 内は回数

2002年冬鳥一斉調査結果

取りまとめ：阿江範彦

1991年より実施している、冬鳥一斉調査は、1月13日、81名の会員の参加のもと行われました。本年の結果は、70種、12,375羽の野鳥が確認さ

年次	浅川本・支流		程久保・谷地川		調査人数
	総数	種類	総数	種類	
1991	11,356	60			31
1992	12,825	59			41
1993	13,557	60			46
1994	12,787	60			40
1995	11,917	61			41
1996	11,615	62			67
1997	12,226	66	1,682	42	82
1998	13,936	64	1,817	40	67
1999	11,344	66	1,740	41	75
2000	10,988	67	2,667	41	65
2001	11,438	61	1,608	39	82
2002	10,492	70	1,883	42	81

(表1) 1991年からの総括表

区間			総数	種類数	
浅川本流	大沢	陵北	456	36	
		陵北	松枝	973	41
		松枝	鶴巻	314	30
		鶴巻	大和	1,510	39
		大和	長沼	418	38
		長沼	一番	983	37
		一番	万歩	940	39
		万歩	合流	450	31
川口川	川口	明治	684	30	
		明治	合流	768	35
南浅川	案内	敷島	260	25	
		敷島	合流	598	30
城山川	月夜	合流	456	32	
山田川	山田	合流	565	30	
湯殿川	白旗	時田	756	32	
		時田	合流	361	30
程久保川	小宮	合流	367	30	
谷地川		月見	左入	905	29
		左入	合流	611	35
	合計			12,375	70

(表2) 区間ごとの総数と種類数

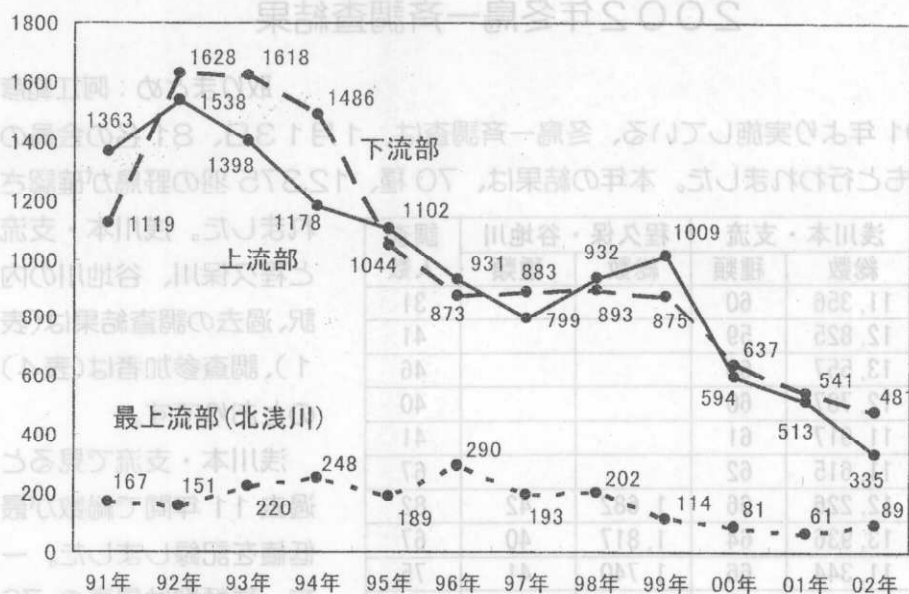
れました。浅川本・支流と程久保川、谷地川の内訳、過去の調査結果は(表1)、調査参加者は(表4)のとおりです。

浅川本・支流で見ると過去11年間で総数が最低値を記録しました。一方、種類数は最高の70種(程久保・谷地川含めても70種)となりました。

調査区間ごとの総数と種類数は、(表2)のとおりで、最も多くの種類が確認されたのは、陵北大橋から松枝橋間の41種。総数では鶴巻橋から大和田橋間の1,510羽が最高となりました。

1. カモ類

浅川本流カモ類の年次出現数について見ると、最上流部(北浅川)は大きな変化は無いものの上流部、下流部共年々総数が少なくなっています(図1)。また、種類数においても同様の傾向が見られます(表3)。



(図1) カモ類の年次変化 (各区域ごとの総数/羽)

	北浅川	上流	下流
1991年	5	8	9
1992年	2	8	7
1993年	4	8	6
1994年	5	6	8
1995年	3	8	8
1996年	3	7	7
1997年	3	6	8
1998年	4	7	7
1999年	3	6	6
2000年	3	6	6
2001年	2	6	6
2002年	3	5	5

(表3) カモ類の年次変化 (各区域ごとの種類数/種)

2. その他の野鳥

一番多く出現したのは、スズメの3,127羽(昨年は3,301羽)。二番目はドバトの1,428羽(昨年は1,349羽)。三番目はコガモの1,131羽(昨年は1,245羽)で順位も昨年と同様でした。この上位3種で全体の46%を占めます。

今年は、シメが多く確認されており、調査区域の19ヶ所の内17箇所

で合計65羽(去年は6箇所17羽)が確認されました。カワセミは山田川を除く18の区域で47羽(去年は16箇所32羽)が確認されています。オオタカは7羽(去年は5羽)。ツグミは180羽(去年は141羽)でした。区域別の詳細データをご希望の方は、取りまとめ者までご連絡下さい。

no	調査場所	参加者
1	大沢橋～陵北大橋	丸山二三夫・今井達郎・柚木育子・笹川佳子 白川司・白川史子・清水盛道・森松幹治
2	陵北大橋～松枝橋	河村道寛・河村洋子・関根伸一
3	松枝橋～鶴巻橋	山浦秀雄
4	鶴巻橋～大和田橋	倉本修・田中英吉・宮越俊一・若狭誠・本島てるみ
5	大田和橋～長沼橋	新村哲也・佐藤哲郎・馬場隆進・馬場啓子 井形定子
6	長沼橋～一番橋	山崎悠一・山崎久美子・長谷川峯雄・長谷川輝子 岩本嘉之・登坂久雄・小原堅嗣・中野悠紀子
7	一番橋～万願寺橋	馬場裕・馬場百合亜・小川清成
8	万願寺橋～多摩合流	阿江範彦・小塩菊子・石橋公子・細田富美代
9	川口橋～明治橋	鈴木章七・石井昇・石井よし子・川戸恵一 杉森熊二・杉森ユリ・目黒廣
10	明治橋～浅川合流	三好恒雄・佐伯直寛・井上典子・永見博子 小沢弘子・小沢節子・佐久間輝子・谷本徹
11	案内橋～敷島橋	川上憲・久保田ヤス子・志村進・夏目昌明 夏目満子
12	敷島橋～浅川合流	古山隆・伊倉恵子
13	月夜峯新橋～浅川合流	木村晴美・小助川千恵子・山澤良子
14	山田橋～浅川合流	平井国二・平井智恵子
15	白畑橋～時田橋	粕谷和夫・桑原文夫・長谷川篤・長谷川典子
16	時田橋～浅川合流	門口一雄・門口裕子・栗原友子・小笠原敏子 加藤六郎
17	小宮橋～浅川合流	青木繁昌・西巻虎彦・佐藤サヨ子
18	月見橋～左入橋	新田茂・井出龍正
19	左入橋～多摩川合流	大川征治・大川香・傍嶋玲子

(表4) 調査参加者

(編集メモ)

3月5日に気象庁からソメイヨシノの開花予想前線が発表されました。例年であればこの時期、会員の方々の手元に会報が届く頃です。

今年は、会の財政事情から、より制作費用の縮減を図ることとなり、従来外注していた製本作業のすべてを会員で行うことにしました。また、掲載しています調査結果の報告に於いても、一部要約版とし必要があれば取りまとめた会員に詳細なデータを請求する方式としました。

つぎに、郵送費用の縮減を図る必要があります。これまでも、探鳥会で配布したり、幹事の方々に配って頂いたりしています。引き続き、一層の会員の方々の協力をお願いします。

今年の桜は早咲予想。東京地方は、平年より8日早い20日で開花から1週間程度で満開になる予想(読売新聞3.6)。

(参考)会報制作に要した費用(円)

	25号	26号	27号	
作成部数	350部	300部	300部	
作成費用	製本等外注費	132,700	157,000	119,700
	その他	1,236	0	0
郵送費用	17,600	32,780	31,490	
合計	151,536	189,780	156,190	
1冊当り	433	633	521	

手作りの会報づくりに合わせ、表紙も変更しました。升井公子さんには、1996年8月発行の17号から28号まで5年間にわたり長い間協力頂きました。ありがとうございました。・・・(N/ae)

かわせみ

2002年3月発行 第28号

発行 八王子・日野カワセミ会

発行人 粕谷 和夫

編集 阿江 範彦 日野市三沢 2-6-42

メ-ル:CZB14024@nifty.com

会報「かわせみ」は再生紙を使用しています。



**Hachiōji·Hino
Kawasemikai**